

八尾市職員意識調査 報告書

平成31年（2019年）3月

八 尾 市

<<目次>>

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
(1) 調査の対象.....	1
(2) 調査方法.....	1
(3) 調査期間.....	1
(4) 回収状況.....	1
(5) 調査結果の表示方法.....	1
II. 集計結果.....	2
1. 回答者の属性.....	2
◆年齢 (①)	2
◆所属 (②)、職種 (③)	2
◆役職 (④)	3
2. 総合計画の活用状況.....	3
(1) 総合計画の閲覧頻度 (問 1)	3
(2) 総合計画の閲覧場面 (問 1－1)	5
(3) 第 5 次総合計画の中で成果があったと思う政策分野・今後重要だと思われる政策分野 (問 2)	7
(4) 成果があった取り組みの具体的事例 (問 2－1)	10
(5) 特に印象に残っている取り組み (問 3)	13
3. より良い市政の実現について.....	14
(1) より良い市政の実現を目指すために特に必要だと思う取り組み (問 4)	14
(2) 担当業務で今後生じるとされる課題 (問 5)	16
(3) 人口規模を維持していくためのアイデア (問 6)	19
(4) 今後10年間で最も重要だと思う課題とその理由・取り組みのアイデア (問 7) .	22
4. 担当業務における他主体との連携・協力状況について.....	27
(1) 職場内での連携・協力 (問 8)	27
(2) 庁内関係課との連携・協力 (問 9)	28
(3) 関係行政機関との連携・協力 (問10)	29
(4) 多様な主体との連携・協力 (問11)	30
(5) 地域活動や市民活動と連携・協働していくべき事柄 (問12)	31
5. 職場での仕事の進め方について.....	32
(1) 職場の状況 (問13)	32
6. 第 6 次総合計画の策定に向けての意見・提案 (問14)	39
〔参考〕 調査票	40

I. 調査の概要

1. 調査の目的

八尾市では、平成23（2011）年2月に、第5次総合計画「やお総合計画2020」をさだめ、将来都市像「元気をつなぐまち、新しい河内の八尾」の実現をめざして、さまざまな施策を進めてきた。この計画の期間が、平成32年度（2020年度）で終わりになることから、現在、第6次総合計画の策定を進めているところである。

本市職員が日頃の業務を通じて感じている課題やアイデア、また日々の業務の進め方を把握し、第6次総合計画の策定や策定後の運用管理に活用することを目的に調査を実施した。

2. 調査の方法

（1） 調査の対象

八尾市の全職員（2,567名）
ただし、臨時的任用職員を除く。

（2） 調査方法

調査票の配布・回収。

（3） 調査期間

平成31年2月7日～平成31年2月22日

（4） 回収状況

状況	件数	備考
配布数	2,567	
有効回答数	2,298	有効回答率：89.5%

（5） 調査結果の表示方法

- ・当該質問の回答者数は「 $n = \times \times \times$ 」と表記している。
- ・集計結果の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、単数回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比の合計は通常100.0%とならない。
- ・本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。
- ・報告書中のグラフにおいて、値の小さい項目は表記が省略されている場合がある。
- ・報告書中の図表のタイトルにある、＜SA＞はシングルアンサー (Single Answer) の略で単回答、＜MA＞はマルチプルアンサー (Multiple Answer) の略で複数回答のことを表記している。

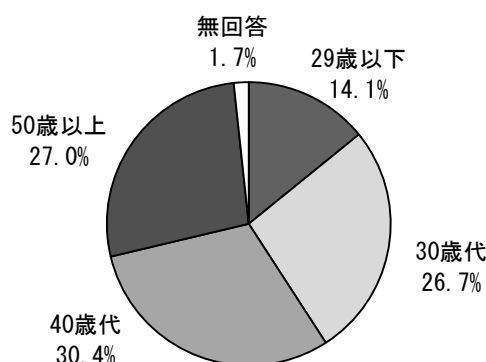
II. 集計結果

1. 回答者の属性

◆年齢（①）

回答者の年齢をみると、「40歳代」が30.4%で最も多く、次いで「50歳以上」（27.0%）、「30歳代」（26.7%）などとなっている。

① 年齢 <SA> (n=2, 298)

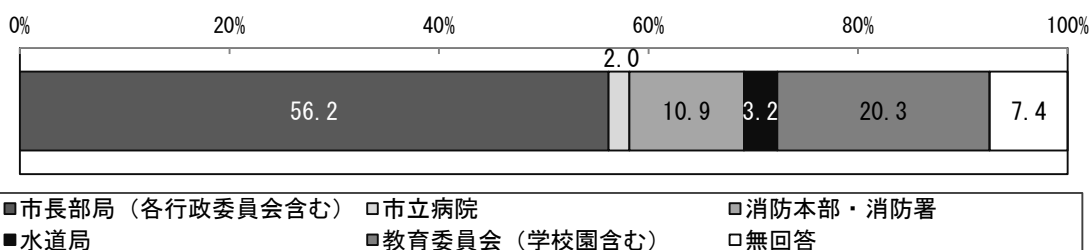


◆所属（②）、職種（③）

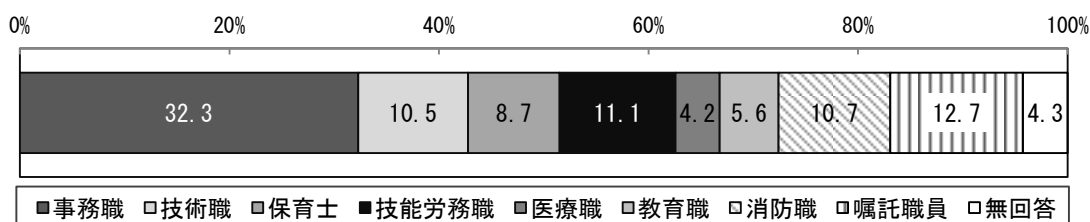
回答者の所属は、「市長部局（各行政委員会含む）」が56.2%と最も多く、次いで「教育委員会（学校園含む）」（20.3%）、「消防本部・消防署」（10.9%）などとなっている。

回答者の職種は、「事務職」が32.3%と最も多く、次いで「嘱託職員」（12.7%）、「技能労務職」（11.1%）などとなっている。

② 所属 <SA> (n=2, 298)

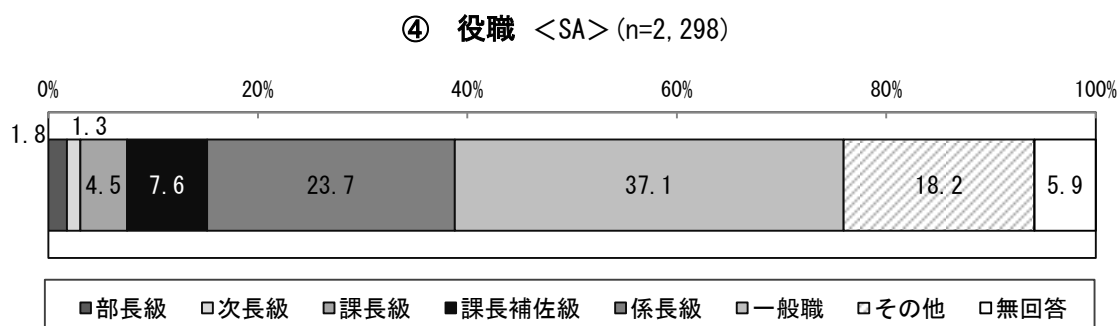


③ 職種 <SA> (n=2, 298)



◆役職（④）

回答者の役職は、「一般職」が37.1%と最も多く、次いで「係長級」（23.7%）、「その他」（18.2%）などとなっている。

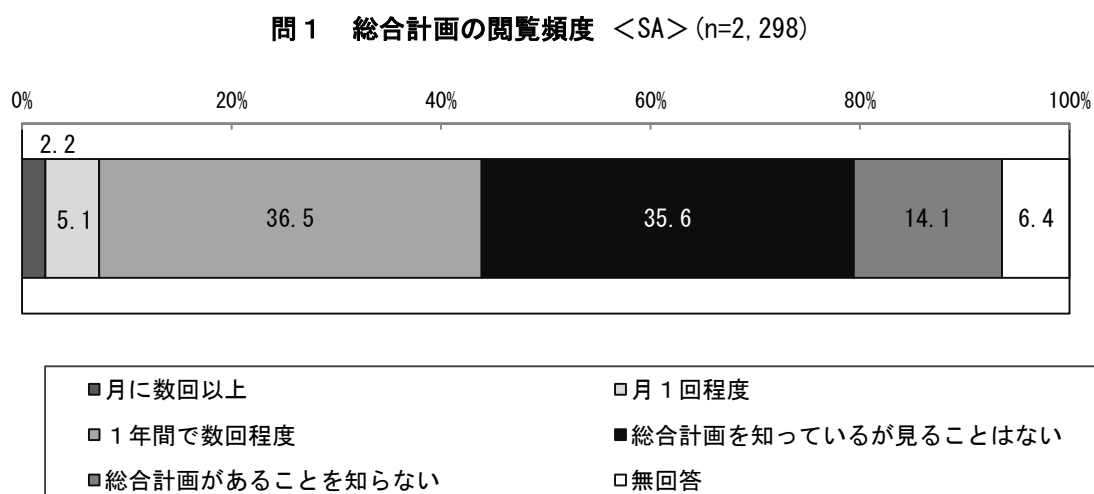


2. 総合計画の活用状況

（１） 総合計画の閲覧頻度（問１）

問1 あなたは、総合計画（基本構想、基本計画、実施計画）をどの程度見ますか。（○印は1つ）

総合計画の閲覧頻度は、「1年間で数回程度」が36.5%と最も多く、次いで「総合計画を知っているが見ることはない」（35.6%）、「総合計画があることを知らない」（14.1%）となっている。



年齢別でみると、“閲覧している割合”（「月に数回以上」、「月1回程度」、「1年間で数回程度」の合計）は『30歳代』（49.8%）が最も高く、次いで『40歳代』（48.7%）となっている。

所属別でみると、“閲覧している割合”は『消防本部・消防署』（53.0%）、『市長部局（各行政委員会含む）』（52.2%）、『水道局』（52.1%）で高くなっている。

職種別でみると、“閲覧している割合”は『事務職』（69.9%）、『技術職』（68.8%）で高くなっている。

役職別でみると、“閲覧している割合”は『係長級』以上で高くなっている。

問1 総合計画の閲覧頻度＜年齢、所属、職種、役職別＞ ＜SA＞（n=2, 298）
（%）

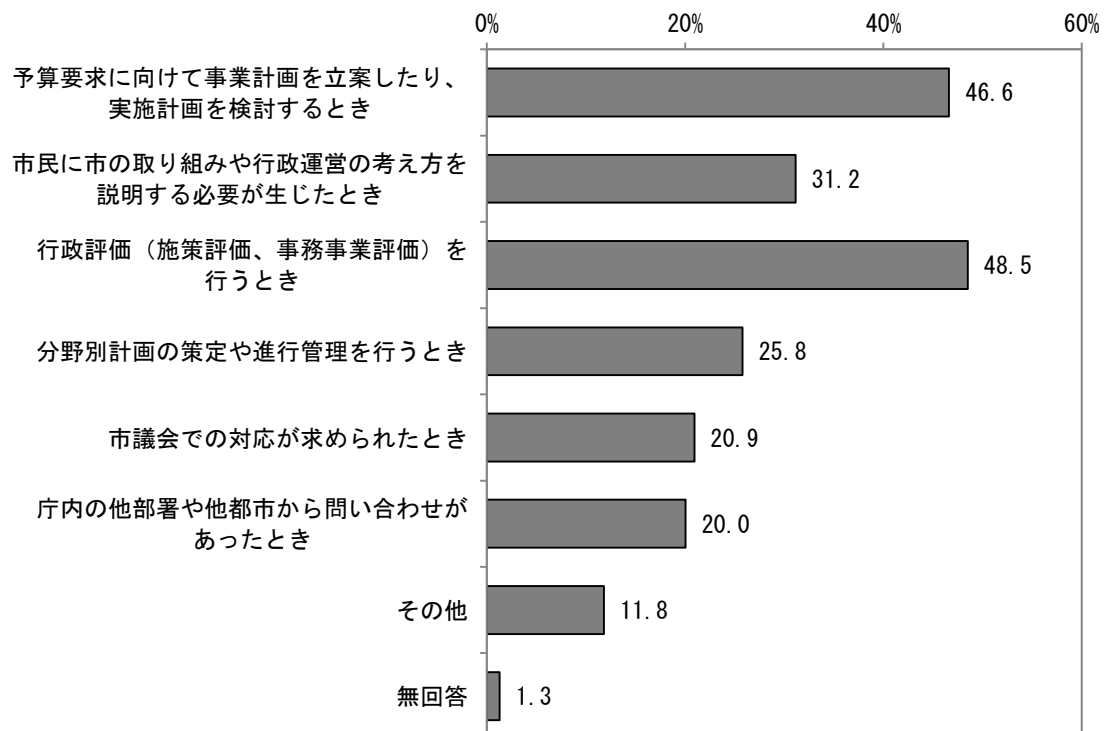
		回答者数	月に数回以上	月1回程度	1年間で数回程度	総合計画を知っているが見ることはない	総合計画があることを知らない	無回答
全体		2,298	2.2	5.1	36.5	35.6	14.1	6.4
年齢	29歳以下	325	1.5	2.5	30.8	43.1	15.7	6.5
	30歳代	614	2.0	3.7	44.1	36.5	10.7	2.9
	40歳代	699	3.0	6.2	39.5	32.0	13.7	5.6
	50歳以上	621	1.9	6.8	29.3	36.1	16.7	9.2
所属	市長部局（各行政委員会含む）	1,291	2.6	6.1	43.5	33.0	9.8	5.0
	市立病院	46	2.2	2.2	43.5	37.0	10.9	4.3
	消防本部・消防署	251	2.4	6.4	44.2	34.3	7.6	5.2
	水道局	73	1.4	8.2	42.5	37.0	2.7	8.2
	教育委員会（学校園含む）	466	1.5	2.6	19.7	41.6	28.3	6.2
職種	事務職	742	3.9	7.5	58.5	25.6	1.8	2.7
	技術職	241	3.3	11.6	53.9	24.1	1.2	5.8
	保育士	201	1.0	1.0	13.4	59.7	16.9	8.0
	技能労務職	254	0.4	0.4	7.1	52.4	26.4	13.4
	医療職	97	1.0	6.2	44.3	35.1	10.3	3.1
	教育職	129	1.6	3.1	21.7	33.3	32.6	7.8
	消防職	245	2.4	6.1	44.1	33.9	7.8	5.7
	嘱託職員	291	0.0	0.3	11.3	44.7	37.5	6.2
役職	部長級	41	9.8	17.1	58.5	4.9	4.9	4.9
	次長級	29	6.9	17.2	62.1	3.4	0.0	10.3
	課長級	103	9.7	24.3	58.3	4.9	0.0	2.9
	課長補佐級	175	6.9	17.7	63.4	8.0	0.0	4.0
	係長級	544	2.4	4.6	54.6	29.4	4.6	4.4
	一般職	853	0.8	2.2	30.1	48.2	12.3	6.3
	その他	418	0.2	0.0	11.2	41.1	39.5	7.9

(2) 総合計画の閲覧場面（問１－１）

問1-1 あなたは、総合計画をどのような時に見ますか。（○印はいくつでも）

総合計画の閲覧場面は、「行政評価（施策評価、事務事業評価）を行うとき」が48.5%と最も多く、次いで「予算要求に向けて事業計画を立案したり、実施計画を検討するとき」（46.6%）、「市民に市の取り組みや行政運営の考え方を説明する必要があるとき」（31.2%）となっている。

問１－１ 総合計画の閲覧場面 <MA> (n=1,008)



年齢別でみると、40歳以上で「行政評価」が、『30歳代』で「予算要求」(36.9%)が、『29歳以下』で「市民への説明」(34.5%)が多くなっている。

所属別でみると、『市長部局(各行政委員会含む)』で「行政評価」(54.3%)が、『消防本部・消防署』、『水道局』、『教育委員会(学校園含む)』では、「予算要求」が、『市立病院』では「市議会での対応」(45.5%)が多くなっている。

職種別でみると、『事務職』、『技術職』で「行政評価」が、『技能労務職』、『教育職』、『嘱託職員』で「市民への説明」が、『医療職』、『消防職』で「予算要求」が多くなっている。

役職別でみると、『課長級』以上で「予算要求」が、『課長補佐級』、『係長級』で「行政評価」が、それ以外では「市民への説明」が多くなっている。

問 1 - 1 総合計画の閲覧場面<年齢、所属、職種、役職別> <MA> (n=1, 008)

		(%)								
		回答者数	予算要求に向けて事業計画を立案したり、実施計画を検討するとき	市民に市の取り組みや行政運営の考え方を説明する必要があるとき	行政評価（施策評価、事務事業評価）を行うとき	分野別計画の策定や進行管理を行うとき	市議会での対応が求められたとき	庁内の他部署や他都市から問い合わせがあったとき	その他	無回答
全体		1,008	46.6	31.2	48.5	25.8	20.9	20.0	11.8	1.3
年齢	29 歳以下	113	20.4	34.5	18.6	10.6	2.7	21.2	28.3	0.9
	30 歳代	306	36.9	33.7	36.6	15.7	8.5	20.3	12.7	1.0
	40 歳代	340	59.4	25.6	63.8	30.0	25.6	22.9	7.1	0.9
	50 歳以上	236	52.5	34.7	55.1	39.4	38.1	14.8	8.5	2.5
所属	市長部局（各行政委員会含む）	674	48.2	31.5	54.3	27.7	22.1	21.1	9.1	0.9
	市立病院	22	36.4	18.2	40.9	27.3	45.5	22.7	13.6	9.1
	消防本部・消防署	133	48.1	33.1	42.1	10.5	12.8	23.3	11.3	0.0
	水道局	38	42.1	28.9	39.5	28.9	23.7	18.4	13.2	2.6
	教育委員会（学校園含む）	111	42.3	33.3	32.4	33.3	19.8	11.7	19.8	2.7
職種	事務職	519	52.6	30.1	56.3	29.1	23.7	20.6	7.9	1.0
	技術職	166	44.6	27.7	53.6	33.7	24.1	22.9	7.8	0.0
	保育士	31	6.5	38.7	12.9	9.7	3.2	9.7	48.4	6.5
	技能労務職	20	15.0	50.0	30.0	15.0	20.0	20.0	15.0	0.0
	医療職	50	46.0	32.0	44.0	28.0	20.0	20.0	20.0	2.0
	教育職	34	29.4	32.4	20.6	23.5	17.6	14.7	20.6	2.9
	消防職	129	49.6	31.8	43.4	10.9	12.4	23.3	11.6	0.0
	嘱託職員	34	14.7	44.1	0.0	11.8	8.8	2.9	32.4	11.8
役職	部長級	35	65.7	40.0	62.9	62.9	62.9	11.4	8.6	0.0
	次長級	25	76.0	28.0	60.0	64.0	60.0	20.0	12.0	0.0
	課長級	95	70.5	27.4	69.5	43.2	60.0	22.1	4.2	0.0
	課長補佐級	154	66.2	32.5	68.8	42.2	40.9	22.1	3.9	0.0
	係長級	335	50.7	22.7	62.4	22.4	8.4	20.0	5.1	0.9
	一般職	283	22.6	40.6	18.0	8.5	4.6	21.6	23.0	1.4
	その他	48	16.7	39.6	10.4	16.7	6.3	8.3	33.3	8.3

(注)最も高い値のセルに色づけ。(無回答を除く)

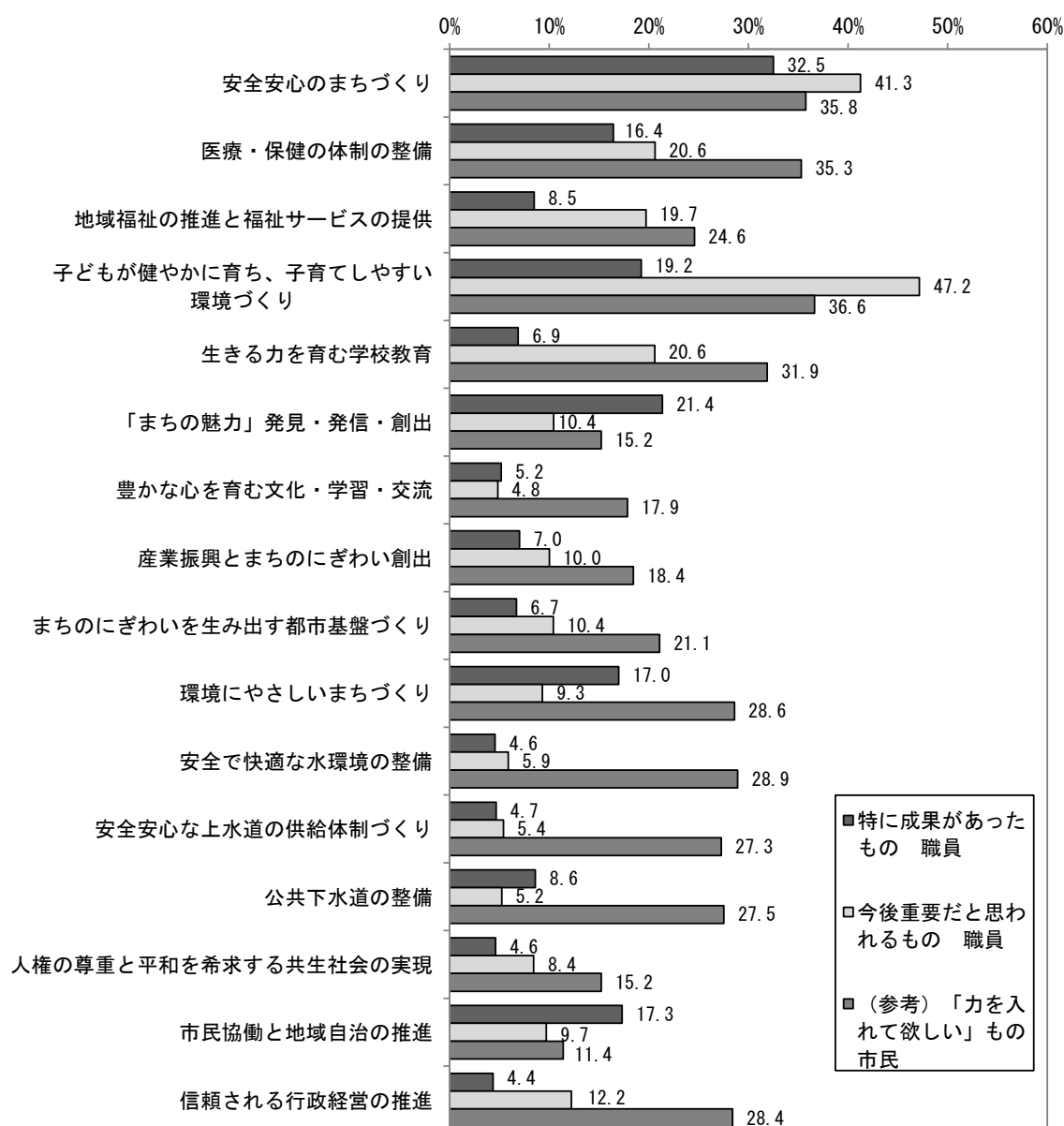
(3) 第5次総合計画の中で成果があったと思う政策分野・今後重要だと思われる政策分野（問2）

問2 第5次総合計画の将来都市像「元気をつなぐまち、新しい河内の八尾」の実現に向けて取り組んできたことを踏まえて、特に成果があったと思う政策分野、また今後重要だと思われる政策分野をお聞かせください。（○印はそれぞれ3つまで）

成果があったと思う政策分野としては、「安全安心のまちづくり」が32.5%と最も多く、次いで「まちの魅力」発見・発信・創出（21.4%）となっている。

今後重要だと思われる政策分野としては、「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」が47.2%と最も多く、次いで「安全安心のまちづくり」（41.3%）となっている。平成30年度八尾市民意識調査での回答結果と順位も同様である。

問2 第5次総合計画の中で成果があったと思う政策分野・今後重要だと思われる政策分野
＜MA＞（職員n=2,298、市民n=1,518）



成果があったと思う政策分野について、年齢別にみると、いずれの年齢層でも「安全安心のまちづくり」が多くなっている。

所属別でみると、『市立病院』で「医療・保健の体制の整備」(60.9%)、『水道局』で「安全安心な上水道の供給体制づくり」(43.8%)、『教育委員会(学校園含む)』で「まちの魅力」発見・発信・創出」(23.2%)が多く、それ以外では「安全安心のまちづくり」が多くなっている。

職種別でみると、『事務職』、『技術職』、『消防職』では、「安全安心のまちづくり」が、『保育士』、『教育職』、『嘱託職員』で「まちの魅力」発見・発信・創出」が、『技能労務職』で「環境にやさしいまちづくり」が、『医療職』で「医療・保健の体制の整備」が多くなっている。

役職別でみると、『その他』を除くすべての役職で「安全安心のまちづくり」が多くなっている。

問2 第5次総合計画の中で成果があったと思う政策分野 ＜年齢、所属、職種、役職別＞ ＜MA＞ (n=2, 298)

(%)

		回答者数	安全安心のまちづくり	医療・保健の体制の整備	地域福祉の推進と福祉サービスの提供	子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	生きる力を育む学校教育	創出「まちの魅力」発見・発信・交流	豊かな心を育む文化・学習・交流	産業振興とまちのにぎわい創出	まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	環境にやさしいまちづくり	安全で快適な水環境の整備	安全安心な上水道の供給体制づくり	公共下水道の整備	人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	市民協働と地域自治の推進	信頼される行政経営の推進
全体		2,298	32.5	16.4	8.5	19.2	6.9	21.4	5.2	7.0	6.7	17.0	4.6	4.7	8.6	4.6	17.3	4.4
年齢	29歳以下	325	30.5	16.9	11.1	17.8	5.2	25.8	6.2	8.3	9.5	15.7	2.8	3.4	7.7	5.5	16.6	6.8
	30歳代	614	31.4	15.8	7.2	16.6	7.8	23.1	3.9	7.2	7.3	15.3	3.7	5.4	6.8	3.7	17.3	3.3
	40歳代	699	33.2	16.5	7.6	23.0	8.4	19.6	5.9	6.6	5.7	17.9	4.0	3.7	8.4	5.0	18.9	6.0
	50歳以上	621	33.8	17.2	9.5	18.8	5.2	20.0	5.3	6.8	6.0	18.8	7.1	5.8	11.4	4.7	16.3	2.4
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	34.5	18.0	10.1	20.8	4.2	22.8	4.2	8.9	7.6	20.6	5.6	3.3	9.8	3.7	23.3	5.1
	市立病院	46	30.4	60.9	10.9	19.6	2.2	19.6	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	2.2	4.3	8.7	13.0	4.3
	消防本部・消防署	251	55.8	19.5	8.8	13.1	6.4	16.3	5.2	2.8	6.0	9.2	4.0	3.2	3.6	2.0	13.5	8.0
	水道局	73	34.2	15.1	4.1	13.7	2.7	17.8	2.7	5.5	8.2	8.2	9.6	43.8	24.7	2.7	13.7	0.0
	教育委員会(学校園含む)	466	19.1	8.8	4.5	19.5	15.9	23.2	8.4	4.5	4.3	12.7	3.0	4.1	6.9	7.3	7.1	2.1
職種	事務職	742	36.9	23.0	10.1	22.9	4.9	21.4	4.0	11.2	3.4	14.2	3.0	4.0	7.0	3.1	29.8	5.8
	技術職	241	44.0	12.0	2.1	12.4	3.3	19.1	2.1	4.1	19.5	14.5	16.2	13.7	28.6	3.3	24.1	3.7
	保育士	201	16.4	8.0	6.0	22.4	6.5	27.9	6.0	2.5	7.0	18.9	3.0	3.0	6.5	4.0	6.5	2.0
	技能労務職	254	29.1	7.5	11.0	19.7	8.7	21.3	5.5	5.9	8.7	43.3	6.3	4.3	9.8	6.7	6.7	4.7
	医療職	97	16.5	43.3	14.4	24.7	4.1	25.8	5.2	6.2	4.1	6.2	1.0	4.1	4.1	4.1	24.7	3.1
	教育職	129	25.6	6.2	3.1	22.5	25.6	28.7	8.5	5.4	3.9	17.8	1.6	3.1	6.2	12.4	2.3	0.0
	消防職	245	56.3	19.6	9.0	13.5	6.5	16.3	5.3	2.9	6.1	9.0	3.7	3.3	3.7	1.6	13.5	7.8
	嘱託職員	291	17.5	11.3	7.9	15.5	6.9	19.9	8.9	6.9	6.2	15.1	2.7	2.4	5.5	6.9	5.5	2.4
役職	部長級	41	51.2	34.1	12.2	48.8	2.4	4.9	0.0	4.9	9.8	12.2	12.2	2.4	7.3	2.4	43.9	7.3
	次長級	29	55.2	31.0	10.3	27.6	0.0	13.8	3.4	6.9	13.8	13.8	13.8	10.3	6.9	10.3	41.4	0.0
	課長級	103	47.6	27.2	11.7	29.1	12.6	14.6	1.9	7.8	5.8	16.5	6.8	3.9	7.8	1.9	35.9	5.8
	課長補佐級	175	50.3	27.4	5.7	28.0	9.7	22.3	4.0	6.9	8.0	12.0	6.9	4.0	12.6	4.6	26.9	3.4
	係長級	544	38.8	17.1	8.1	18.8	5.7	20.6	4.8	7.5	5.7	18.6	5.1	6.4	11.4	3.3	26.7	5.5
	一般職	853	30.8	15.1	8.8	17.9	6.1	24.4	5.3	7.4	7.6	17.7	4.6	4.3	8.2	4.5	11.7	5.0
	その他	418	17.0	11.2	7.4	14.1	7.9	21.5	7.4	5.7	6.7	18.2	1.7	4.1	6.2	7.2	4.8	2.2

(注) 1位は 、2位は 、3位は 

今後重要だと思われる政策分野について、年齢別にみると、『50歳以上』で「安全安心のまちづくり」(39.8%)が、それ以外では「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」が多くなっている。

所属別でみると、『消防本部・消防署』で「安全安心のまちづくり」(55.8%)、『水道局』で「安全安心な上水道の供給体制づくり」(56.2%)が、それ以外では「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」が多くなっている。

職種別でみると、『技術職』、『消防職』で「安全安心のまちづくり」が、それ以外では「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」が多くなっている。

役職別でみると、『係長級』以下では「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」が、『課長補佐級』以上では、「安全安心のまちづくり」が多くなっている。

問2 第5次総合計画の中で今後重要だと思われる政策分野 ＜年齢、所属、職種、役職別＞ ＜MA＞ (n=2, 298)

(%)																		
		回答者数	安全安心のまちづくり	医療・保健の体制の整備	地域福祉の推進と福祉サービスの提供	子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	生きる力を育む学校教育	創出 「まちの魅力」発見・発信・交流	豊かな心を育む文化・学習・産業振興とまちのにぎわい創出	まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	環境にやさしいまちづくり	安全で快適な水環境の整備	安全安心な上水道の供給体制づくり	公共下水道の整備	人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	市民協働と地域自治の推進	信頼される行政経営の推進	
全体		2,298	41.3	20.6	19.7	47.2	20.6	10.4	4.8	10.0	10.4	9.3	5.9	5.4	5.2	8.4	9.7	12.2
年齢	29 歳以下	325	38.2	20.3	14.5	52.9	20.6	12.9	4.3	7.1	13.5	11.7	7.7	4.3	4.9	11.7	9.2	10.8
	30 歳代	614	42.0	20.7	15.6	55.4	23.5	10.1	4.1	10.4	10.3	7.2	3.9	6.0	3.6	6.4	8.1	12.9
	40 歳代	699	43.5	21.0	20.7	46.5	23.0	10.6	5.7	10.0	9.6	9.0	5.9	6.6	5.6	7.2	10.4	11.3
	50 歳以上	621	39.8	20.5	25.1	37.5	15.5	9.2	5.0	11.4	10.1	10.5	7.2	4.2	6.4	9.8	11.0	13.7
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	42.2	21.2	20.8	48.6	17.8	12.5	3.7	12.6	11.3	10.3	5.7	3.9	5.0	7.4	12.9	13.6
	市立病院	46	37.0	39.1	21.7	45.7	6.5	19.6	6.5	13.0	15.2	8.7	2.2	6.5	0.0	4.3	8.7	19.6
	消防本部・消防署	251	55.8	25.9	16.3	37.5	13.1	7.6	2.4	7.2	8.8	10.0	11.6	6.8	8.8	5.6	4.0	9.2
	水道局	73	39.7	15.1	5.5	23.3	5.5	6.8	2.7	6.8	12.3	2.7	11.0	56.2	5.5	5.5	12.3	13.7
	教育委員会(学校園含む)	466	34.1	15.5	20.0	52.6	36.5	6.4	8.8	6.4	7.9	6.4	3.6	2.1	4.9	12.4	4.7	9.9
職種	事務職	742	45.4	22.0	20.4	50.8	17.1	14.0	4.3	15.9	11.2	6.6	3.6	5.8	3.0	5.7	15.8	15.6
	技術職	241	45.6	16.6	13.7	30.7	17.4	16.6	3.3	12.9	21.2	7.5	12.4	12.4	5.0	3.7	12.9	10.0
	保育士	201	29.9	15.4	25.4	63.7	26.9	5.0	6.0	3.5	6.5	12.4	3.0	5.0	4.0	17.4	3.5	11.9
	技能労務職	254	34.3	15.0	13.8	40.2	22.4	10.2	5.5	6.7	7.9	21.7	6.7	4.3	9.8	9.1	6.3	13.0
	医療職	97	39.2	44.3	37.1	70.1	8.2	6.2	1.0	8.2	4.1	5.2	3.1	0.0	1.0	6.2	14.4	13.4
	教育職	129	37.2	11.6	11.6	60.5	51.2	3.9	7.0	4.7	5.4	4.7	2.3	1.6	3.1	12.4	3.1	5.4
	消防職	245	55.9	26.1	16.3	37.1	13.5	7.8	2.4	6.9	9.0	10.2	11.4	6.9	8.6	5.3	3.7	9.4
	嘱託職員	291	34.4	19.9	23.0	41.2	22.7	6.5	9.3	6.9	8.9	8.6	5.5	2.7	7.2	12.7	6.2	11.3
役職	部長級	41	41.5	26.8	14.6	34.1	22.0	7.3	0.0	22.0	14.6	4.9	9.8	7.3	2.4	19.5	31.7	14.6
	次長級	29	41.4	27.6	20.7	34.5	10.3	17.2	3.4	24.1	10.3	17.2	6.9	6.9	0.0	10.3	6.9	24.1
	課長級	103	62.1	20.4	21.4	41.7	24.3	13.6	2.9	15.5	16.5	8.7	5.8	3.9	2.9	4.9	18.4	11.7
	課長補佐級	175	56.6	19.4	15.4	44.0	17.1	16.0	5.1	15.4	14.9	6.9	7.4	6.3	2.9	4.6	18.3	10.9
	係長級	544	44.1	20.4	19.1	46.9	17.1	11.0	4.2	11.4	11.0	9.6	5.7	7.7	5.3	4.8	13.6	12.5
	一般職	853	37.9	21.1	18.3	51.7	21.9	10.3	4.9	7.3	9.0	10.2	6.3	4.8	5.7	8.4	6.1	12.7
	その他	418	33.5	18.7	23.0	43.1	24.2	7.9	6.9	8.4	8.6	9.3	4.8	3.6	6.0	12.4	5.0	12.7

(注) 1位は 、2位は 、3位は

(4) 成果があった取り組みの具体的事例（問2-1）

問2-1 第5次総合計画の将来都市像「元気をつなぐまち、新しい河内の八尾」の実現に向けて、成果があった取り組みの具体的事例があればご記入ください。

成果があった取り組みの具体的事例として政策分野ごとに分類すると、「元気をつなぐまち」については、「市民協働と地域自治の推進」が61件と最も多く、次いで「安全安心のまちづくり」(31件)、「医療・保健の体制の整備」(27件)などとなっている。

「新しい河内の八尾」については、「まちの魅力」発見・発信・創出」が64件と最も多く、次いで「市民協働と地域自治の推進」(21件)、「産業振興とまちのにぎわい創出」(15件)などとなっている。

問2-1 「元気をつなぐまち」の成果があった取り組み（自由記述）

政策分野	件数	取り組み	件数
安全安心のまちづくり	31	防災意識・地域防災力の向上	24
		交通安全啓発活動	2
		業務継続計画の策定	1
		高度救助隊の発足	1
		火災による被災者への支援	1
		空き家のリノベーション	1
		消費者保護活動	1
医療・保健の体制の整備	27	疾病予防・健康づくり推進	18
		出張所等への保健師の配属	5
		八尾市立病院の機能向上	2
		病院と診療所の役割分担	1
		救急車の適正利用	1
地域福祉の推進と福祉サービスの提供	12	高齢者の生きがいづくり	4
		見守り活動の強化	2
		地域ケアケース会議の開催	1
		認知症カフェの開催	1
		手作りサロンの開催	1
		基幹相談支援センターの設置	1
		医療型児童発達支援センターと父母会によるイベントの開催	1
		パーソナル・サポート事業、就労支援	1
子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	23	世代間交流事業	7
		就学前施設の再編	5
		子ども・子育て支援事業	5
		母子保健事業	2
		幼保連携の深化	2
		地域での幼児教育	2
生きる力を育む学校教育	3	施設一体型小・中学校整備事業	1
		学校と地域の連携事業	1
		スクールサポーター派遣事業	1

政策分野	件数	取り組み	件数
「まちの魅力」発信・発信・創出	24	八尾河内音頭まつり、河内音頭のギネス世界記録認定	15
		ふるさと納税制度・クラウドファンディング	3
		八尾の伝統文化の発信	3
		自然的資源保全啓発活動	1
		「八尾市シティプロモーション推進ロゴマーク」の作成	1
		八尾市観光協会の設立	1
豊かな心を育む文化・学習・交流	2	「まちなかの達人」事業	1
		プロスポーツでの市民応援デーの開催	1
産業振興とまちなかにぎわい創出	24	「みせるばやお」の設置	18
		ものづくり発展のためのプラットフォームづくり	1
		中小企業の高付加価値化	1
		「八尾市中小企業地域経済振興基本条例」の改正	1
		八尾商工会議所の建て替え	1
		「やおセレクション」の発行	1
		マルシェの開催	1
まちなかにぎわいを生み出す都市基盤づくり	9	土地区画整理事業	3
		玉串川等の桜再生事業	2
		近鉄河内山本駅周辺整備事業	1
		地域との連携によるインフラの維持管理	1
		用途地域の変更	1
		八尾市景観条例・八尾市屋外広告物条例の制定	1
環境にやさしいまちづくり	13	ごみの減量化	6
		環境美化・啓発活動	5
		カラスによるごみの被害の軽減	1
		飼い主のいない猫の不妊・去勢手術助成金制度	1
安全で快適な水環境の整備	1	玉串川の親水イベント開催	1
安全安心な上水道の供給体制づくり	3	水道施設の耐震化	3
公共下水道の整備	5	公共下水道の整備、浸水被害の減少	4
		下水道出前講座	1
市民協働と地域自治の推進	61	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	26
		校区まちづくり協議会の設立	22
		地域や他機関・団体等との連携深化	7
		「わがまち推進計画」の策定	3
		「やお若者OTS会議」の開催	2
		助成金・補助金制度の創設	1
信頼される行政経営の推進	14	企業・大学との包括連携協定の締結	8
		出張所機能の再編	3
		龍華出張所の設置	1
		中核市移行	1
		民間の経営手法の活用	1

問 2-1 「新しい河内の八尾」の成果があった取り組み（自由記述）

政策分野	件数	取り組み	件数
安全安心のまちづくり	8	防災意識・地域防災力の向上	5
		消防団の女性分団結成、女性防災リーダーの育成	2
		避難行動要支援者名簿登録者の戸別訪問	1
医療・保健の体制の整備	4	疾病予防・健康づくり推進	3
		八尾市立病院の入退院前センターの充実	1
地域福祉の推進と福祉サービスの提供	1	地域での敬老祝寿式などのイベント実施	1
子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	1	食育の推進	1
生きる力を育む学校教育	1	施設一体型小・中学校整備事業	1
「まちの魅力」発見・発信・創出	64	八尾河内音頭まつり、河内音頭のギネス世界記録認定	29
		由義寺跡の発掘・国の文化財指定	16
		八尾の魅力の発信	5
		八尾ブランド特産品を使った給食、商品開発	3
		シティプロモーションの推進	2
		心合寺山古墳の整備	2
		市の歴史・文化を知る教職員研修の実施	2
		「八尾探」の提供	1
		八尾市観光協会の設立	1
		河内木綿の取り組み	1
		久宝寺寺内町のまちなみ保全	1
		市史編纂事業	1
豊かな心を育む文化・学習・交流	4	文化資産の発信	2
		国際交流・国内交流の進展	1
		やおミュージックフェスティバルの開催	1
産業振興とまちのにぎわい創出	15	「みせるばやお」の設置	8
		中小企業の集積、商品開発	2
		ものづくりワークショップの開催	1
		中小企業の高付加価値化	1
		医工連携事業	1
		商業施設の誘致	1
		電照菊の講座・展示	1
まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	7	玉串川等の桜再生事業	2
		土地区画整理事業	1
		用途地域の変更	1
		景観行政団体への移行	1
		インフラの整備	1
		JRおおさか東線の全線開業	1
環境にやさしいまちづくり	2	ごみ収集事業	2
公共下水道の整備	2	デザインマンホールの設置、マンホールカード配布	2
人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	2	学校での多文化教育の実施	2
市民協働と地域自治の推進	21	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	11
		校区まちづくり協議会の設立	7
		「やお若者OTS会議」の開催	1
		久宝寺小学校区まちづくり協議会による婚活イベント開催	1
		地域人材のマッチング	1
信頼される行政経営の推進	6	中核市移行	3
		部局連携	2
		出張所機能の再編	1

(5) 特に印象に残っている取り組み（問3）

問3 第5次総合計画の計画期間では「地域と向き合う行政」に取り組んできました。平成23年度(2011年度)以降に、あなたが担当した事例で、特に印象に残っている取り組みをご記入ください。

平成23年度(2011年度)以降に担当した事例で、特に印象に残っている取り組みについては、「防災、防犯、消費者保護」が61件と最も多く、次いで「市民協働と地域自治の推進」(42件)、「ごみの減量」(31件)などとなっている。

問3 特に印象に残っている取り組み（自由記述）

分類	件数
防災、防犯、消費者保護	61
市民協働と地域自治の推進	42
ごみの減量	31
子どもの健全育成、子育て支援	21
道路、歩道、都市基盤整備	19
地域福祉の推進、福祉サービスの提供	17
健康づくりの推進	17
医療、保健サービスの充実	14
環境保全、美化	13
学校教育、教育環境の充実	12
上下水道の整備	12
出張所の再編、窓口サービスの向上	11
人権の尊重と多文化共生社会の実現	10
地域の声の把握、相談	10
産業振興、雇用創出、就業支援	9
文化、スポーツ、生涯学習、世代間交流	9
まちの魅力発見、発信、創出	8
土地、空き家、資源の有効活用	7
行財政の改善	5
交通安全の推進	2
良質な住まいづくり	2

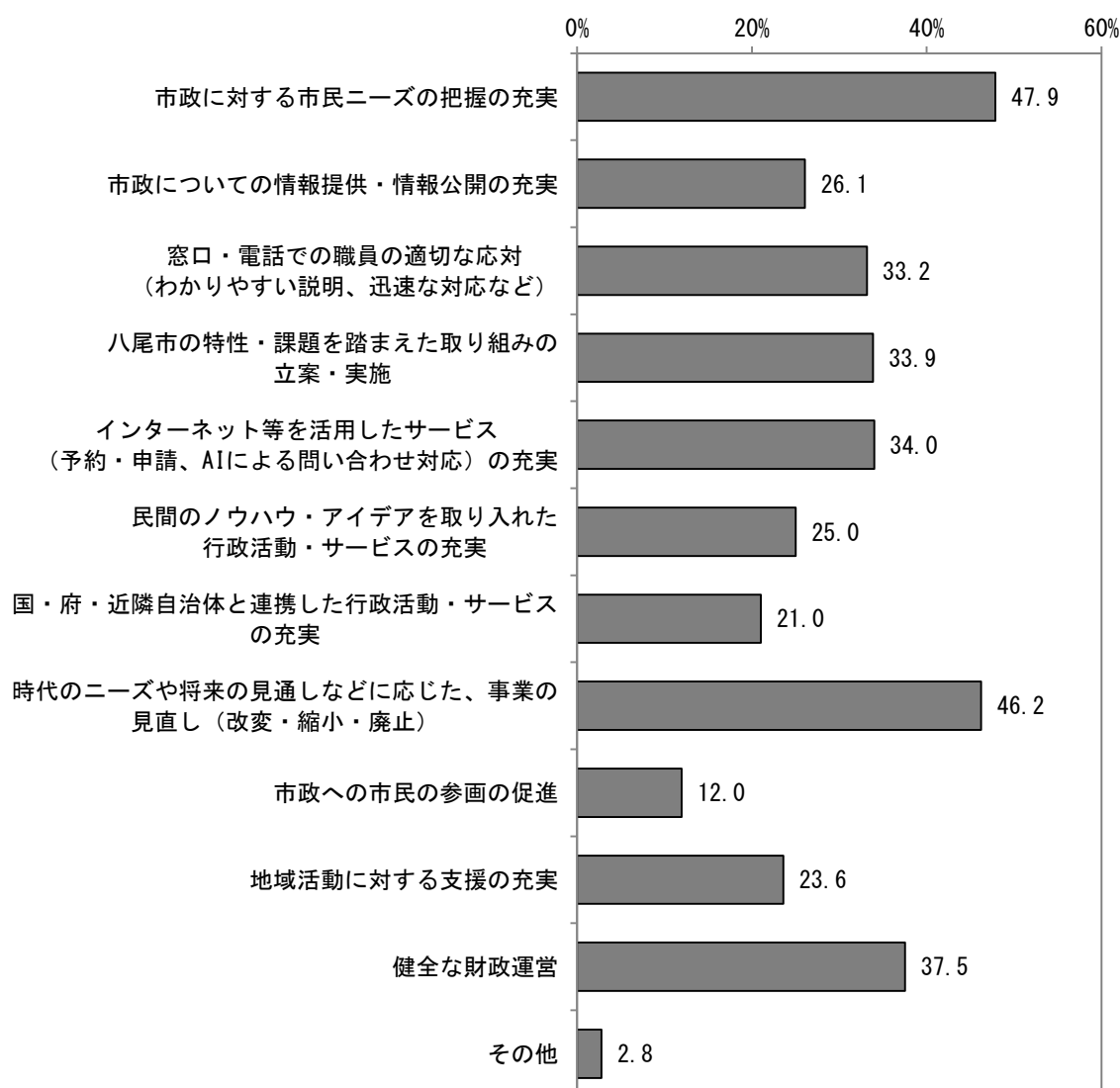
3. より良い市政の実現について

(1) より良い市政の実現を目指すために特に必要だと思う取り組み（問4）

問4 より良い市政の実現を目指した次の取り組みの中で、あなたが特に必要だと思うものをお聞かせください。（○印は5つまで）

より良い市政の実現を目指すために特に必要だと思う取り組みについては、「市政に対する市民ニーズの把握の充実」が47.9%と最も多く、次いで「時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、事業の見直し（改変・縮小・廃止）」（46.2%）、「健全な財政運営」（37.5%）となっている。

問4 より良い市政の実現を目指すために特に必要だと思う取り組み
＜MA＞（n=2, 298）



年齢別にみると、『29歳以下』で「時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、事業の見直し(改変・縮小・廃止)」(47.1%)が、それ以外では「市政に対する市民ニーズの把握の充実」が多くなっている。

所属別にみると、『市立病院』では「健全な財政運営」(63.0%)が、『市長部局(各行政委員会含む)』、『教育委員会(学校園含む)』で「市政に対する市民ニーズの把握の充実」が、それ以外では「時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、事業の見直し(改変・縮小・廃止)」が多くなっている。

職種別にみると、『事務職』、『技術職』、『消防職』で「時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、事業の見直し(改変・縮小・廃止)」が、それ以外では「市政に対する市民ニーズの把握の充実」が多くなっている。

役職別にみると、『一般職』、『その他』で「市政に対する市民ニーズの把握の充実」が、それ以外では「時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、事業の見直し(改変・縮小・廃止)」が多くなっている。

問4 より良い市政の実現を目指すために特に必要だと思う取り組み ＜年齢、所属、職種、役職別＞ ＜MA＞ (n=2, 298)

															(%)
		回答者数	市政に対する市民ニーズの把握の充実	市政についての情報提供・情報公開の充実	窓口・電話での職員の適切な対応 (わかりやすい説明、迅速な対応など)	八尾市の特性・課題を踏まえた 取り組みの立案・実施	インターネット等を活用したサービス (予約・申請、AIによる問い合わせ対応)の充実	民間のノウハウ・アイデアを取り入れた 行政活動・サービスの充実	国・府・近隣自治体と連携した 行政活動・サービスの充実	時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、 事業の見直し(改変・縮小・廃止)	市政への市民の参画の促進	地域活動に対する支援の充実	健全な財政運営	その他	
全体		2,298	47.9	26.1	33.2	33.9	34.0	25.0	21.0	46.2	12.0	23.6	37.5	2.8	
年齢	29歳以下	325	45.8	21.5	37.8	33.5	45.2	24.0	22.2	47.1	12.0	18.8	31.4	1.5	
	30歳代	614	51.6	20.0	29.8	31.3	42.0	28.2	21.2	47.9	10.6	19.7	35.0	3.1	
	40歳代	699	49.1	27.2	33.0	36.5	30.3	25.0	19.9	46.4	11.0	23.5	40.1	2.9	
	50歳以上	621	44.8	33.2	34.9	33.3	25.1	23.2	22.1	44.3	14.3	30.4	40.7	3.1	
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	49.5	25.6	32.4	37.3	36.6	26.9	21.0	48.3	14.3	23.6	36.0	3.3	
	市立病院	46	47.8	28.3	19.6	41.3	39.1	28.3	28.3	47.8	10.9	15.2	63.0	4.3	
	消防本部・消防署	251	42.6	21.5	35.5	24.7	37.1	30.3	22.7	48.6	8.0	17.9	37.8	0.8	
	水道局	73	41.1	20.5	26.0	34.2	41.1	23.3	30.1	54.8	12.3	12.3	42.5	5.5	
	教育委員会(学校園含む)	466	48.5	31.3	35.2	32.2	24.5	19.3	19.7	42.9	7.1	28.3	41.6	2.4	
職種	事務職	742	48.4	24.3	29.2	38.5	39.9	28.4	20.9	58.2	14.3	18.5	41.8	3.6	
	技術職	241	44.8	19.9	19.9	43.6	36.9	28.2	19.9	53.1	18.3	18.7	39.0	3.7	
	保育士	201	54.2	27.9	40.3	25.4	24.4	21.4	20.4	36.3	8.0	27.9	36.8	3.5	
	技能労務職	254	49.2	30.7	38.6	35.8	39.0	22.8	27.6	22.8	15.4	34.3	26.0	2.0	
	医療職	97	58.8	30.9	37.1	45.4	30.9	32.0	22.7	45.4	11.3	33.0	34.0	1.0	
	教育職	129	55.0	31.0	41.9	30.2	24.0	18.6	10.9	44.2	4.7	21.7	34.1	1.6	
	消防職	245	42.4	21.2	35.1	24.5	36.7	30.6	23.3	48.6	7.8	18.0	37.6	0.8	
	嘱託職員	291	43.6	30.9	39.2	26.1	24.4	17.9	20.6	38.1	8.2	29.6	39.5	3.1	
役職	部長級	41	46.3	46.3	12.2	48.8	14.6	24.4	31.7	70.7	19.5	41.5	53.7	2.4	
	次長級	29	27.6	48.3	17.2	58.6	31.0	24.1	34.5	62.1	20.7	27.6	58.6	3.4	
	課長級	103	57.3	28.2	27.2	41.7	29.1	27.2	18.4	61.2	11.7	26.2	43.7	3.9	
	課長補佐級	175	45.7	34.9	29.1	50.3	31.4	29.1	22.9	57.1	14.9	24.6	38.3	3.4	
	係長級	544	49.6	18.9	27.4	36.6	36.9	27.9	21.3	54.8	13.6	19.7	39.5	3.7	
	一般職	853	50.5	25.0	36.9	31.7	38.9	25.9	20.3	41.4	11.6	22.3	33.5	2.2	
	その他	418	43.5	30.4	40.0	24.9	26.6	18.7	21.3	34.9	9.1	28.5	37.6	2.2	

(注) 1位は ■、2位は ■、3位は ■

(2) 担当業務で今後生じるとされる課題（問5）

問5 今後75歳以上人口や一人暮らし世帯が増加すると見込まれています。また、長期的に人口の減少がつつくことが見込まれています。あなたの担当業務ではどのような課題が生じると考えられますか。

75歳以上人口、高齢者のみ世帯の増加により生じる課題については、「医療・病院・救急の需要」が152件と最も多く、次いで「高齢・独居等に伴う生活上の困難」(140件)、「地域活動維持困難・地域活力低下・地域の様々な人材不足」(79件)などとなっている。

問5 ①75歳以上人口、高齢者のみ世帯の増加により生じる課題（自由記述）

分類	件数
医療・病院・救急の需要	152
高齢・独居等に伴う生活上の困難	140
地域活動維持困難・地域活力低下・地域の様々な人材不足	79
医療・介護費増、税などの負担増、生活保護受給者増	73
福祉・介護等に関する業務や相談の増、企業等の人材不足、サービス内容低下	68
災害対応・防災	57
収益・税収の減、納付・支払に関すること、財政難	43
孤独死、社会的な孤立、相続人不在、関係者との音信不通	37
少子化、子育て、子育て・子どもと地域の関わり	37
インフラ(上下水道の経営も含む)、交通手段	31
地域包括ケアシステム・見守り、高齢者向けサービス量の増大	30
高齢者向けの住居・施設・設備、バリアフリー	28
空き家、管理不適切な建物・土地、所有者の施設入所による不在	28
家族などの心身・経済的介護負担	24
犯罪・トラブル・交通事故・火災のリスク	22
健康づくり、介護・認知症予防、成人病対策、健康診断の普及	21
参加・交流・学習の場	19
消防事業への要請(防火診断等)	13
情報伝達の方法	11
様々な連携の必要性	7
高齢者の就労の場	7
その他	26

一人暮らし世帯の増加により生じる課題については、「孤独死、社会的な孤立、相続人不在、関係者との音信不通」が211件と最も多く、次いで「地域包括ケアシステム・見守り、高齢者向けサービス量の増大」(62件)、「医療・病院・救急の需要」(55件)などとなっている。

問5 ②一人暮らし世帯の増加により生じる課題（自由記述）

分類	件数
孤独死、社会的な孤立、相続人不在、関係者との音信不通	211
地域包括ケアシステム・見守り、高齢者向けサービス量の増大	62
医療・病院・救急の需要	55
少子化、子育て、子育て・子どもと地域の関わり	41
災害対応・防災	39
地域活動維持困難・地域活力低下・地域の様々な人材不足	36
高齢・独居等に伴う生活上の困難	36
ごみに関すること	33
インフラ(上下水道の経営も含む)、交通手段	32
福祉・介護等に関する業務や相談の増、企業等の人材不足、サービス内容低下	29
消防事業への要請(防火診断)	22
空き家、管理不適切な建物・土地、所有者の施設入所による不在	18
医療・介護費増、税などの負担増、生活保護受給者増	17
収益・税収の減、納付・支払に関すること、財政難	17
情報伝達の方法	16
犯罪・トラブル・交通事故・火災のリスク	11
参加・交流・学習の場	10
様々な連携の必要性	7
高齢者向けの住居・施設・設備、バリアフリー	6
健康づくり、介護・認知症予防、成人病対策、健康診断の普及	6
高齢者の就労の場	2
家族などの心身・経済的介護負担	2
その他	19

人口の減少により生じる課題については、「少子化、子育て、子育て・子どもと地域の関わり」が167件と最も多く、次いで「地域活動維持困難・地域活力低下・地域の様々な人材不足」(82件)、「収益・税収の減、納付・支払に関すること、財政難」(75件)などとなっている。

問5 ③人口の減少により生じる課題（自由記述）

分類	件数
少子化、子育て、子育て・子どもと地域の関わり	167
地域活動維持困難・地域活力低下・地域の様々な人材不足	82
収益・税収の減、納付・支払に関すること、財政難	75
インフラ(上下水道の経営も含む)、交通手段	71
福祉・介護等に関する業務や相談の増、企業等の人材不足、サービス内容低下	59
制度・政策・業務改善、サービスの縮小・改善	45
空き家、管理不適切な建物・土地、所有者の施設入所による不在	45
災害対応・防災	27
公共施設・利用減	26
医療・介護費増、税などの負担増、生活保護受給者増	9
医療・病院・救急の需要	8
地域包括ケアシステム・見守り、高齢者向けサービス量の増大	8
空き家の増加による税収の減	7
ごみに関すること	7
様々な連携の必要性	5
外国人に関すること	4
人口減少に伴う施設の減少・縮小	3
情報伝達の方法	2
高齢者向けの住居・施設・設備、バリアフリー	2
高齢者の就労の場	2
健康づくり、介護・認知症予防、成人病対策、健康診断の普及	2
参加・交流・学習の場	1
その他	35

(3) 人口規模を維持していくためのアイデア（問6）

問6 人口規模を維持していくためには、若い世代の転入促進や転出抑制に取り組むことが必要です。あなたの担当業務の中で、取り組むことができると考えられるアイデアをお聞かせください。

若い世代の転入促進に関するアイデアについては、「子育て、新婚世帯への支援の充実」が122件と最も多く、次いで「保育施設、保育内容の充実」(82件)、「若い世代への情報発信」(79件)などとなっている。

問6 ①若い世代の転入促進に関するアイデア（自由記述）

アイデア	件数
子育て、新婚世帯への支援の充実	122
保育施設、保育内容の充実	82
若い世代への情報発信	79
経済負担の軽減(住居以外)	72
安全安心のまちづくり	60
学校教育、教育環境の充実	53
居住支援(ハード面、経済面)	49
働く場の提供、職場改善、起業支援	40
イベント、交流の場、地域活動の充実	36
交通の利便性、都市基盤の充実	34
行財政、行政サービスの改善	31
八尾の魅力の創出、充実	28
医療、健康づくりの充実	23
魅力的な産業振興	21
まちの美化、環境保全	16
若い世代の活躍促進	15
福祉サービス、施設の充実	13
芸術、文化、生涯教育の充実	9
子どもの遊び場、公園の充実	7
若い世代のニーズ把握	6
若い世代の外国人への支援の拡大	2

若い世代の転出抑制に関するアイデアについては、「子育て、新婚世帯への支援の充実」が83件と最も多く、次いで「安全安心のまちづくり」(56件)、「働く場の提供、職場改善、起業支援」(50件)などとなっている。

問 6 ②若い世代の転出抑制に関するアイデア（自由記述）

アイデア	件数
子育て、新婚世帯への支援の充実	83
安全安心のまちづくり	56
働く場の提供、職場改善、起業支援	50
保育施設、保育内容の充実	46
経済負担の軽減(住居以外)	45
若い世代への情報発信	44
学校教育、教育環境の充実	39
居住支援(ハード面、経済面)	38
八尾の魅力の創出、充実	36
イベント、交流の場、地域活動の充実	34
交通の利便性、都市基盤の充実	30
行財政、行政サービスの改善	29
医療、健康づくりの充実	15
まちの美化、環境保全	15
福祉サービス、施設の充実	15
若い世代の活躍促進	11
子どもの遊び場、公園の充実	11
買物などの生活の利便性	11
魅力的な産業振興	11
若い世代のニーズ把握	6
芸術、文化、生涯教育の充実	5

その他、人口規模の維持に関するアイデアについては、「子育て、新婚世帯への支援の充実」が27件と最も多く、次いで「八尾の魅力の創出、充実」(23件)、「情報発信」(22件)などとなっている。

問 6 ③その他、人口規模の維持に関するアイデア（自由記述）

アイデア	件数
子育て、新婚世帯への支援の充実	27
八尾の魅力の創出、充実	23
情報発信	22
働く場の提供、職場改善、起業支援	21
交通の利便性、都市基盤の充実	18
安全安心のまちづくり	17
居住支援(ハード面、経済面)	16
行財政、行政サービスの改善	15
イベント、交流の場、地域活動の充実	12
外国人の受入れ体制の強化	10
医療、健康づくりの充実	10
保育施設、保育内容の充実	10
市民協働と地域自治の推進	9
買物などの生活の利便性	9
学校教育、教育環境の充実	9
経済負担の軽減(住居以外)	7
近隣市との広域的な取り組み	5
福祉サービス、施設の充実	5
まちの美化、環境保全	5
市民ニーズ把握	4
魅力的な産業振興	4
ITの活用	3
子どもの遊び場、公園の充実	3
他市、海外の成功例を参考	2
若い世代の活躍促進	2
海外に流出する日本人の呼び戻し	1

(4) 今後10年間で最も重要だと思う課題とその理由・取り組みのアイデア (問7)

問7 担当業務に関わらず、八尾市全体で、今後10年間で最も重要だと思う課題をお聞かせください。
また、そう考える理由と、八尾市として取り組むことができると考えられるアイデアをお聞かせください。

今後10年間で最も重要だと思う課題とその理由・取り組みのアイデアについて政策・施策毎に分類すると、「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」が203件と最も多く、次いで「安全安心のまちづくり」(172件)、「産業振興とまちのにぎわい創出」(136件)などとなっている。また、政策・施策分野以外として「人口規模の維持・増加」(143件)が多くあげられている。

問7 今後10年間で最も重要だと思う課題と主なアイデア (自由記述)

1. 安全安心のまちづくり (172件)

施策分野		件数	主なアイデア
1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	22	街灯の整備、防犯カメラの設置、警察との連携強化、子どもの見守り強化
2	安心を高める防災力の強化	64	地域の自主防災力の強化、防災研修・訓練の実施、防災の取組のアピール、地域と連携した避難所運営の強化、さらなる共助の推進、自主防災組織の強化
3	災害に強い消防体制づくり	20	消防庁舎の機能更新、消防体制・車両等の充実、消防の広域化、訓練環境の確保
4	緊急事態への対応力の強化	0	—
5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	6	道路の整備、交通マナーの向上
6	市民一人ひとりの適切な自転車利用の促進	2	自転車道や駐輪場の整備、自転車の運転マナーの向上
7	消費者の保護と自立を支援する取り組み	2	消費者教育・啓発
8	安心して暮らせる良質な住まいづくり	38	空き家の活用促進、空き地・空き家への増税、市営住宅の耐震・改修、情報共有による早期対応
9	公共施設・設備の効率的な機能更新	17	老朽化の点検体制の強化、公共施設の計画的な更新、周辺市との共同整備・共同活用、公共用地・公共施設の適正管理(配置)
	その他	1	—

2. 医療・保健の体制の整備 (50件)

施策分野		件数	主なアイデア
10	疾病予防と健康づくりの推進	24	専門職人材の確保・育成、働く世代の健康増進、健康教育・情報発信、地域拠点と各種団体の連携強化
11	医療サービスの充実	22	救急車の増台・救急隊の増隊、救急診療科目の充実、軽症者の救急車利用の抑制、救急者適正利用の広報・教育
12	地域医療体制の充実	3	医療と福祉分野の連携強化
	その他	1	自転車専用の道路整備

3. 地域福祉の推進と福祉サービスの提供（86件）

施策分野		件数	主なアイデア
13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	12	地域人材の発掘によるつながり強化、地域拠点と各種団体の連携強化、住民の社会福祉活動の積極参画を促進
14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	51	外出支援・外出手段の確保、医療と福祉分野の連携強化、雇用の場・機会の増加、高齢者の見守り強化、高齢者へのIT普及
15	介護サービスの提供	6	介護施設の充実、高齢者の見守り体制の強化
16	障がいのある人の自立支援	3	外出支援・外出手段の確保、雇用の促進
17	生活困窮者への支援	8	コーディネートできる支援者の確保
	その他	6	高齢者と若い世代をつなげる取組、認知症の方を受け入れる人権教育

4. 子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり（203件）

施策分野		件数	主なアイデア
18	母子保健の増進	7	不妊治療の独自助成、出産・託乳児施設の充実
19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	54	家事代行等の支援、保護者のニーズ把握、大型児童館の誘致、子育てに係る費用の支援、保育施設の充実と地域交流の促進、子育て環境の改善、子育て支援の充実
20	保育サービスの充実	68	保育士の増員、保育士の待遇改善、保育所へのアクセス（バスなど）改善、保育料の無償化
21	幼児教育の充実	6	選択制の独自教育の実施、公私教育水準の充実、保育施設の充実
22	次代を担う青少年の健全育成	9	放課後児童施設の確保、長期休暇期間中の小学生の預け先の確保、学費の無償化
	その他	59	ボール遊びができる公園など魅力的な公園の整備、全天候型の遊び場の確保、子育てのワンストップ対応窓口の充実とアプリの活用促進、新婚世帯への家賃等の補助

5. 生きる力を育む学校教育（44件）

施策分野		件数	主なアイデア
23	知徳体のバランスのとれた小中学生の育成	30	学力向上の取組、教員の負担軽減、教育水準の充実を情報発信、地域への関心を高める教育実施
24	教育機会の均等	12	特別支援教育の充実、教育施設への投資、校区の再編等、学費の無償化
	その他	2	有名学校の誘致

6. 「まちの魅力」発見・発信・創出（53件）

施策分野		件数	主なアイデア
25	八尾の魅力発見と発信	49	大阪万博に向けた活動、インパクトのある情報発信、魅力発信の担当部署の充実、八尾独自ブランド定着施策の実施、八尾の特産・歴史等の個性を発信
26	自然的資源の保全	0	—
27	歴史資産などの保全と活用	4	民俗文化の伝承、由義寺の活用、歴史あるまち並みの整備

7. 豊かな心を育む文化・学習・交流（8件）

施策分野		件数	主なアイデア
28	生涯学習の取り組み	1	生涯学習機会の充実
29	国際交流と国内交流	1	定期的な多文化交流の実施
30	芸術文化の振興	3	音楽祭の実施、美術館等の設置、身近な文化芸術の発信
31	スポーツ・レクリエーションの取り組み	2	プロスポーツチームのホームタウン化、専門的人材の活用
	その他	1	—

8. 産業振興とまちのにぎわい創出（136件）

施策分野		件数	主なアイデア
32	産業政策を活かした「まちづくり」の推進	40	広域連携による産業振興、大阪万博を利用した本市企業の発信、公有地を活用した企業誘致、IT 企業の誘致、中小企業の付加価値創出
33	世界に誇るものづくりの振興と発信	25	企業・工場の流出防止、技術継承の仕組みづくり、福利厚生による人材の確保、若者や起業家の支援、企業の誘致
34	地域に根ざし、貢献する商業の育成と振興	25	大型商業施設の誘致、若者のアイデアによる商店街の振興、ラーメンストリートの形成、商店街の振興、有名店の誘致や八尾食材の提供
35	味力をうみだす農業の振興	8	多様な形態による農地の維持、農産物を地域活動に活用、ICT 活用等による若者の農業参入促進、八尾特産物を移動販売
36	就業支援と雇用創出	25	子育てに配慮した労働環境整備、若者向けの企業 PR、就職氷河期世代の雇用対策、多様な労働形態の推進、企業・工場の流出防止
	その他	13	電子地域通貨の発行、道路等の操業環境の充実、地区計画による産業集積の維持

9. まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり（107件）

施策分野		件数	主なアイデア
37	土地の有効利用と都市景観の保全	23	適切なゾーニング、ブランド力のある地域づくり、山間部への移住者の誘導、八尾の街並みを情報発信
38	魅力ある都市核などの充実	19	おおさか東線開業に伴うJR 久宝寺駅の開発、コンパクトシティの推進、中心市街地の施設更新整備、都市計画区域の拡大による税収増
39	都市計画道路などの整備	11	道路政策による物流基盤の整備、主要駅の周辺整備、国道 25 号交通網の多重化
40	生活道路の整備と維持	25	歩道の設置、道路の拡幅、自転車専用道路の整備、計画的な道路修繕
41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	6	子どもが思い切り遊べる公園が必要、緑化の推進、小規模公園の集約化
42	公共交通網の充実	13	高齢者の交通手段の確保、近鉄八尾駅の急行停車
	その他	10	大型商業施設の誘致

10. 環境にやさしいまちづくり（18件）

施策分野		件数	主なアイデア
43	快適な生活環境づくり	2	野焼きを条例等で禁止
44	きれいなまち八尾の実現	1	河川の水質改善と美化
45	地球温暖化対策の推進	3	環境教育の充実、再生可能エネルギーやLED照明の導入
46	資源循環への取り組み	10	ゴミ袋の有料化、鳥獣のゴミ置き場への侵入防止対策、レジ袋の有料化
	その他	2	パッカー車の火災発生防止、都市基盤の適正な維持管理

11. 安全で快適な水環境の整備（0件）

施策分野		件数	主なアイデア
47	治水対策と環境を意識した水環境の形成	0	—

12. 安全安心な上水道の供給体制づくり（4件）

施策分野		件数	主なアイデア
48	上水道の安定供給	4	安全な飲料水の恒常的な提供、水道料金の値上げ

13. 公共下水道の整備（2件）

施策分野		件数	主なアイデア
49	下水道事業の推進	2	民間委託の可能性検討、下水道管の計画的な修繕

14. 人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現（35件）

施策分野		件数	主なアイデア
50	一人ひとりの人権が尊重される心豊かなまちづくり	1	性の多様性を認める制度の導入
51	人権意識の高揚と差別のない社会の推進	2	人権啓発の充実、人権教育の継続実施
52	多文化共生の推進	31	アプリ等を用いた通訳機能の充実、職員の外国人対応力の向上、相互理解を深める場の構築、外国人材支援の充実、外国人材の居住支援
53	平和意識の向上	1	戦争体験の語り部に代わる啓発方法の検討

15. 市民協働と地域自治の推進（34件）

施策分野		件数	主なアイデア
54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	28	地域のつながりづくり、若年層の地域活動への参画、地域活動団体の強化、担い手への報酬支払い、町会加入者への優遇措置
55	市民の社会貢献活動の促進	5	民間の新たなビジネスとの連携
56	女性活躍の推進	1	男女ともに活躍できる社会への取り組み

16. 信頼される行政経営の推進（127件）

施策分野		件数	主なアイデア
57	計画行政の推進	4	市民ニーズ把握と対応強化
58	広域行政の推進	3	周辺自治体との連携計画の明確化
59	行財政改革の推進	44	事業のスクラップ、AI や ICT の活用、不要な書類の精査
60	行政情報の提供と個人情報保護	9	情報発信力の強化、税金の用途をわかりやすく、行政データの一元管理による事務の効率化
61	人材の活用と組織の活性化	29	避難所運営等への元職員活用、NPO・NGOなどへの積極的な派遣、職員の市内居住促進、正規職員の増員
62	窓口サービス機能の充実	7	コミュニティセンター窓口の強化、インターネットを活用した行政手続きの充実
63	健全かつ公正な行財政運営	26	ふるさと納税の強化、不要不急の事業の廃止、オークション等を活用した備品売却
	その他	5	大型商業施設や企業の誘致、国との協働体制の構築

○人口規模の維持・増加（143件）

分類	件数	主なアイデア
若い世代（子育て世代）の増加（転入促進・転出防止）	93	新婚世帯への家賃補助、三世帯同居・近居の推進、若い母親が働ける就職先の確保、保育施設の充実、子育て環境の改善、子どもの幼小中学費・医療費の無償化
人口減少抑制	27	工場の流出防止による雇用確保、職住近接のまち、まちのブランド向上、転入者に住宅購入支援、空き家の活用促進
人口維持・定住促進	13	世界に八尾を発信、転入者に住宅購入支援、働く世代のニーズ把握と転入促進、長期在住市民への記念品贈呈
転入促進のためのアピール	7	交通利便性のアピール、利便性と住環境の充実を情報発信、保育の充実を情報発信
その他	3	人口や経済動向を定期的に分析把握、主要駅周辺でのマンション建設の誘導

○人口減少に適応したまちづくり（14件）

分類	件数	主なアイデア
人口減少に適応したまちづくり	14	人口減少を前提とした考え方に転換、コンパクトシティの促進

○その他（15件）

分類	件数	主なアイデア
その他（上記いずれの分野にも当てはまらないもの）	15	地域の区割りの整理、多様な生き方を前提にした政策

4. 担当業務における他主体との連携・協力状況について

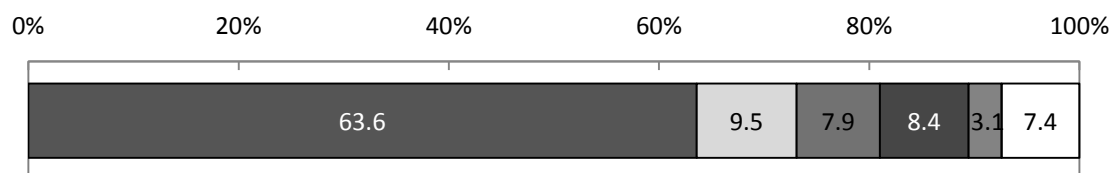
(1) 職場内での連携・協力（問8）

問8 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、職場内で連携・協力を得ましたか。（○印は1つ）

職場内での連携・協力については、「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が63.6%と最も多く、次いで「連携・協力を得たが、期待した効果はなかった」(9.5%)となっている。

年齢別、所属別、職種別、役職別のいずれにおいても「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が多くなっている。

問8 職場内での連携・協力 <SA> (n=2, 298)



- 連携・協力を得たことで、より良い効果があった
- 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった
- 今後連携・協力を得る予定
- 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない
- 担当業務では、職場内での連携・協力を必要としない
- 無回答

問8 職場内での連携・協力 <年齢、所属、職種、役職別> <SA> (n=2, 298) (%)

		回答者数	効果があつた こと、より良い 連携・協力を得た	が、期待した効果 はなかった	今後連携・協力を 得る予定	ない 力を求められてい ない	連携・協力を得る べきであるが、協 力を必要としない	担当業務では、職 場内での連携・協 力を必要としない	無回答
全体		2,298	63.6	9.5	7.9	8.4	3.1	7.4	
年齢	29歳以下	325	63.7	7.4	12.9	10.5	3.1	2.5	
	30歳代	614	62.1	10.6	10.7	9.0	2.4	5.2	
	40歳代	699	64.1	11.4	5.4	7.0	3.4	8.6	
	50歳以上	621	65.7	7.4	5.3	8.4	3.5	9.7	
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	67.6	9.9	6.6	8.1	3.1	4.6	
	市立病院	46	80.4	0.0	4.3	8.7	0.0	6.5	
	消防本部・消防署	251	51.0	14.3	14.3	13.1	4.0	3.2	
	水道局	73	58.9	12.3	6.8	11.0	4.1	6.8	
	教育委員会(学校園含む)	466	62.0	7.1	7.9	6.9	3.4	12.7	
職種	事務職	742	71.4	8.4	5.3	7.0	3.4	4.6	
	技術職	241	62.7	12.0	6.6	10.8	3.3	4.6	
	保育士	201	60.2	6.0	11.4	5.5	1.5	15.4	
	技能労務職	254	56.7	16.1	9.1	11.4	4.7	2.0	
	医療職	97	77.3	7.2	6.2	5.2	0.0	4.1	
	教育職	129	71.3	7.8	7.0	2.3	0.8	10.9	
	消防職	245	51.0	14.3	14.7	13.5	3.7	2.9	
	嘱託職員	291	57.7	6.5	6.9	9.6	3.4	15.8	
役職	部長級	41	95.1	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	
	次長級	29	82.8	10.3	0.0	6.9	0.0	0.0	
	課長級	103	85.4	7.8	1.9	1.9	0.0	2.9	
	課長補佐級	175	76.6	9.7	4.0	5.1	1.7	2.9	
	係長級	544	65.6	11.9	6.4	8.8	3.1	4.0	
	一般職	853	59.0	10.7	10.6	10.6	3.9	5.4	
	その他	418	59.1	6.2	8.4	7.7	3.6	15.1	

(注) 最も高い値のセルに色づけ。(無回答を除く)

(2) 庁内関係課との連携・協力（問9）

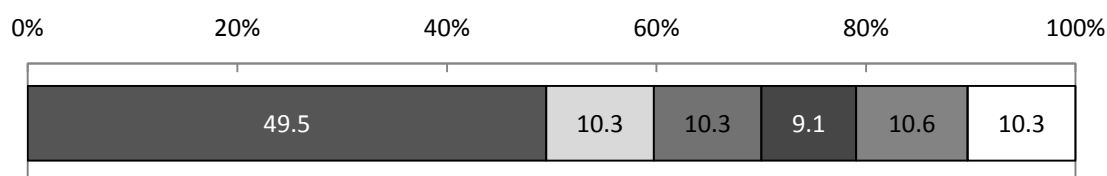
問9 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、庁内関係課と連携・協力しましたか。

（○印は1つ）

庁内関係課との連携・協力については、「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が49.5%と最も多く、次いで「担当業務では、連携・協力すべき庁内関係課はない」（10.6%）となっている。

年齢別、所属別、職種別、役職別のいずれにおいても「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が多くなっている。

問9 庁内関係課との連携・協力 <SA> (n=2, 298)



- 連携・協力を得たことで、より良い効果があった
- 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった
- 今後連携・協力を得る予定
- 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない
- 担当業務では、連携・協力すべき庁内関係課はない
- 無回答

問9 庁内関係課との連携・協力 <年齢、所属、職種、役職別> <SA> (n=2, 298) (%)

		回答者数	連携・協力を得たことで、より良い効果があった	連携・協力を得たが、期待した効果はなかった	今後連携・協力を得る予定	連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない	担当業務では、連携・協力すべき庁内関係課はない	無回答
全体		2,298	49.5	10.3	10.3	9.1	10.6	10.3
年齢	29歳以下	325	43.1	10.5	16.6	12.3	12.0	5.5
	30歳代	614	47.9	12.2	12.2	10.4	9.9	7.3
	40歳代	699	55.2	9.9	7.7	7.2	9.9	10.2
	50歳以上	621	49.4	8.2	8.1	8.4	11.6	14.3
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	56.1	12.1	8.8	8.6	8.3	6.1
	市立病院	46	45.7	6.5	10.9	8.7	19.6	8.7
	消防本部・消防署	251	41.0	12.7	19.5	13.5	10.4	2.8
	水道局	73	47.9	15.1	8.2	11.0	11.0	6.8
	教育委員会(学校園含む)	466	40.8	5.4	9.7	8.4	15.7	20.2
職種	事務職	742	65.0	13.2	7.0	4.7	5.8	4.3
	技術職	241	57.3	15.4	7.5	9.5	6.2	4.1
	保育士	201	26.4	6.0	16.4	10.4	18.4	22.4
	技能労務職	254	37.0	7.5	11.8	18.9	18.5	6.3
	医療職	97	55.7	7.2	12.4	9.3	9.3	6.2
	教育職	129	53.5	4.7	8.5	3.1	7.8	22.5
	消防職	245	40.0	13.1	20.0	13.5	10.6	2.9
役職	嘱託職員	291	35.1	6.2	8.9	9.6	16.8	23.4
	部長級	41	90.2	2.4	4.9	0.0	2.4	0.0
	次長級	29	75.9	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4
	課長級	103	77.7	10.7	1.9	3.9	3.9	1.9
	課長補佐級	175	73.1	13.1	9.1	0.0	2.3	2.3
	係長級	544	56.6	16.0	6.6	9.4	7.0	4.4
	一般職	853	42.2	9.6	15.2	12.3	12.9	7.7
その他	その他	418	33.7	5.0	9.6	8.6	19.6	23.4

(注)最も高い値のセルに色づけ。(無回答を除く)

(3) 関係行政機関との連携・協力（問10）

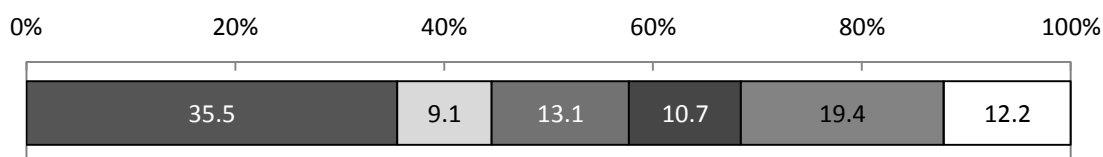
問10 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、関係行政機関と連携・協力しましたか。

（○印は1つ）

関係行政機関との連携・協力については、「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が35.5%と最も多く、次いで「担当業務では、連携・協力すべき関係行政機関はない」（19.4%）となっている。

年齢別、所属別、職種別、役職別のほとんどにおいて「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が多くなっているが、職種別で『保育士』、『技能労務職』、『嘱託職員』で「担当業務では、連携・協力すべき関係行政機関はない」が多くなっている。

問10 関係行政機関との連携・協力 <SA> (n=2, 298)



- 連携・協力を得たことで、より良い効果があった
- 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった
- 今後連携・協力を得る予定
- 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない
- 担当業務では、連携・協力すべき関係行政機関はない
- 無回答

問10 関係行政機関との連携・協力 <年齢、所属、職種、役職別> <SA> (n=2, 298) (%)

		回答者数	連携・協力を得たことで、より良い効果があつた	連携・協力を得たが、期待した効果はなかった	今後連携・協力を得る予定	連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない	担当業務では、連携・協力すべき関係行政機関はない	無回答
全体		2,298	35.5	9.1	13.1	10.7	19.4	12.2
年齢	29歳以下	325	33.2	7.4	20.3	11.7	20.3	7.1
	30歳代	614	36.8	9.1	16.6	11.7	18.1	7.7
	40歳代	699	37.3	9.9	9.9	9.4	21.0	12.4
	50歳以上	621	34.3	9.0	10.0	10.6	18.2	17.9
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	40.4	9.8	12.3	10.5	19.7	7.4
	市立病院	46	45.7	4.3	8.7	4.3	30.4	6.5
	消防本部・消防署	251	34.3	12.4	23.1	14.3	13.1	2.8
	水道局	73	26.0	12.3	13.7	15.1	19.2	13.7
	教育委員会(学校園含む)	466	27.5	6.0	10.9	10.1	21.9	23.6
職種	事務職	742	48.0	10.9	9.6	7.8	17.8	5.9
	技術職	241	40.7	13.3	14.5	10.0	17.4	4.1
	保育士	201	20.9	5.0	15.9	10.0	20.9	27.4
	技能労務職	254	16.1	7.1	16.5	20.5	31.9	7.9
	医療職	97	53.6	5.2	11.3	9.3	16.5	4.1
	教育職	129	42.6	3.1	10.1	4.7	15.5	24.0
	消防職	245	33.9	11.8	23.7	14.7	13.1	2.9
	嘱託職員	291	20.3	7.6	11.7	11.7	21.6	27.1
役職	部長級	41	70.7	9.8	9.8	0.0	9.8	0.0
	次長級	29	62.1	13.8	10.3	6.9	3.4	3.4
	課長級	103	58.3	12.6	7.8	2.9	16.5	1.9
	課長補佐級	175	53.7	12.6	8.6	6.9	13.1	5.1
	係長級	544	41.0	13.2	11.0	11.0	18.9	4.8
	一般職	853	31.1	7.4	17.8	12.9	21.2	9.6
	その他	418	21.5	6.0	11.7	11.0	22.5	27.3

(注)最も高い値のセルに色づけ。(無回答を除く)

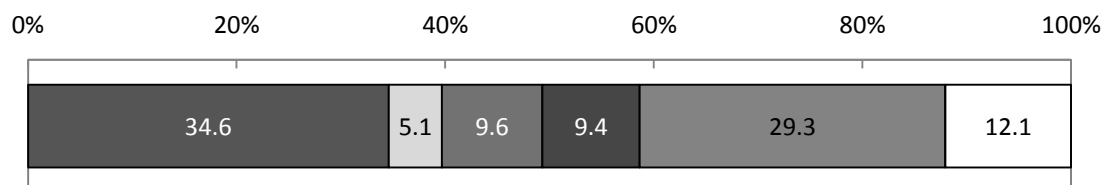
(4) 多様な主体との連携・協力（問11）

問11 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、多様な主体（地域団体、NPO、企業、大学等）と連携・協力しましたか。（○印は1つ）

多様な主体との連携・協力については、「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が34.6%と最も多く、次いで「担当業務では、連携・協力すべき多様な主体はない」(29.3%)となっている。

年齢別、所属別、職種別、役職別のほとんどにおいて「連携・協力を得たことで、より良い効果があった」が多くなっているが、職種別で『保育士』、『技能労務職』、『嘱託職員』において「担当業務では、連携・協力すべき多様な主体はない」が多くなっている。

問11 多様な主体（地域団体、NPO、企業、大学等）との連携・協力 <SA> (n=2,298)



- 連携・協力を得たことで、より良い効果があった
- 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった
- 今後連携・協力を得る予定
- 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない
- 担当業務では、連携・協力すべき多様な主体はない
- 無回答

問11 多様な主体との連携・協力 <年齢、所属、職種、役職別> <SA> (n=2,298) (%)

		回答者数	連携・協力を得たことで、より良い効果があった	連携・協力を得たが、期待した効果はなかった	今後連携・協力を得る予定	連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない	連携・協力すべき多様な主体はない	担当業務では、連携・協力すべき多様な主体はない	無回答
全体		2,298	34.6	5.1	9.6	9.4	29.3	12.1	
年齢	29歳以下	325	30.2	5.5	16.3	10.8	28.9	8.3	
	30歳代	614	32.4	5.7	10.6	9.6	34.2	7.5	
	40歳代	699	40.5	3.6	7.3	8.6	28.2	11.9	
	50歳以上	621	33.0	5.8	7.9	9.3	26.4	17.6	
所属	市長部局(各行政委員会含む)	1,291	37.0	5.9	8.9	9.1	31.4	7.7	
	市立病院	46	47.8	4.3	2.2	10.9	26.1	8.7	
	消防本部・消防署	251	41.4	6.8	14.3	9.6	25.1	2.8	
	水道局	73	15.1	2.7	6.8	8.2	56.2	11.0	
	教育委員会(学校園含む)	466	31.8	2.4	9.4	9.7	24.9	21.9	
職種	事務職	742	41.2	6.2	5.4	6.5	35.4	5.3	
	技術職	241	40.2	5.4	10.0	7.9	32.4	4.1	
	保育士	201	21.9	3.0	11.4	10.4	24.4	28.9	
	技能労務職	254	19.7	4.3	16.1	19.3	33.5	7.1	
	医療職	97	49.5	6.2	11.3	8.2	19.6	5.2	
	教育職	129	48.8	3.1	6.2	7.0	14.0	20.9	
	消防職	245	41.6	6.5	14.7	9.8	24.5	2.9	
	嘱託職員	291	21.3	4.1	10.3	11.0	26.1	27.1	
役職	部長級	41	75.6	7.3	4.9	4.9	7.3	0.0	
	次長級	29	65.5	3.4	6.9	3.4	13.8	6.9	
	課長級	103	68.9	5.8	3.9	4.9	15.5	1.0	
	課長補佐級	175	57.7	5.7	8.0	6.3	20.0	2.3	
	係長級	544	36.0	6.3	8.5	9.6	35.7	4.0	
	一般職	853	29.8	5.2	12.8	10.4	32.0	9.8	
	その他	418	21.1	3.6	8.4	10.5	28.2	28.2	

(注)最も高い値のセルに色づけ。(無回答を除く)

(5) 地域活動や市民活動と連携・協働していきべき事柄 (問12)

問12 今後、八尾市として、地域活動や市民活動と連携・協働していきべきと考えられる事柄をお聞かせください。

今後、八尾市として、地域活動や市民活動と連携・協働していきべきと考えられる事柄について政策毎に分類すると、「安全安心のまちづくり」が140件と最も多く、次いで「地域福祉の推進と福祉サービスの提供」と「市民協働と地域自治の推進」(ともに119件)、「子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり」(100件)などとなっている。

各政策毎の内訳をみると、「防災、消防」が90件と最も多く、次いで「高齢者の活躍、居場所づくり」(74件)などとなっている。

問12 地域活動や市民活動と連携・協働していきべき事柄 (自由記述)

分類	内訳	件数
安全安心のまちづくり		140
	空き家対策	6
	避難所の開設、運営	16
	交通安全、適切な自転車利用	2
	防犯	11
	防災、消防	90
	その他	15
医療・保健の体制の整備		23
地域福祉の推進と福祉サービスの提供		119
	高齢者の活躍、居場所づくり	74
	その他	45
子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり		100
	青少年の健全育成	18
	保育、幼児教育	6
	その他	76
生きる力を育む学校教育		12
「まちの魅力」発見・発信・創出		12
豊かな心を育む文化・学習・交流		13
産業振興とまちのにぎわい創出		19
まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり		19
環境にやさしいまちづくり		25
安全で快適な水環境の整備		0
安全安心な上水道の供給体制づくり		1
公共下水道の整備		1
人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現		9
市民協働と地域自治の推進		119
	若い世代の参画	40
	リーダー、担い手の育成	9
	その他	70
信頼される行政経営の推進		26
その他		34
	イベント・祭り・にぎわい	15
	その他	19

5. 職場での仕事の進め方について

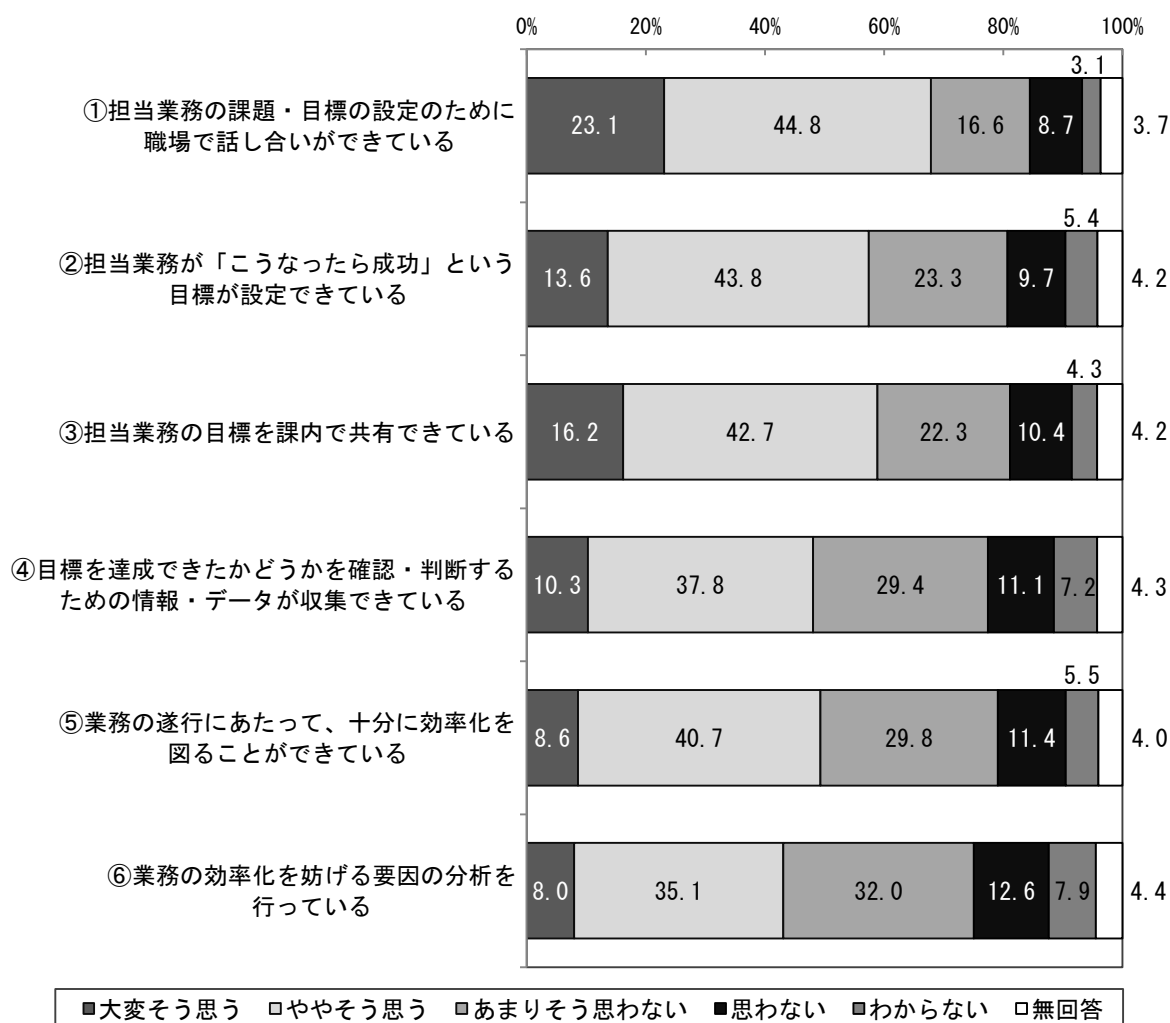
(1) 職場の状況（問13）

問13 下記の事柄につき、あなたの職場の状況に当てはまるものをお聞かせください。（○印は1つ）

職場での状況について、『①担当業務の課題・目標の設定のために職場で話し合いができている』、『②担当業務が「こうなったら成功」という目標が設定できている』、『③担当業務の目標を課内で共有できている』では“肯定的な割合”（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）が50%以上となっており、“否定的な割合”（「あまりそう思わない」と「思わない」の合計）を大きく上回っている。

一方、『④目標を達成できたかどうかを確認・判断するための情報・データが収集できている』、『⑤業務の遂行にあたって、十分に効率化を図ることができている』、『⑥業務の効率化を妨げる要因の分析を行っている』においては、“肯定的な割合”、“否定的な割合”がともに40%台となっている。

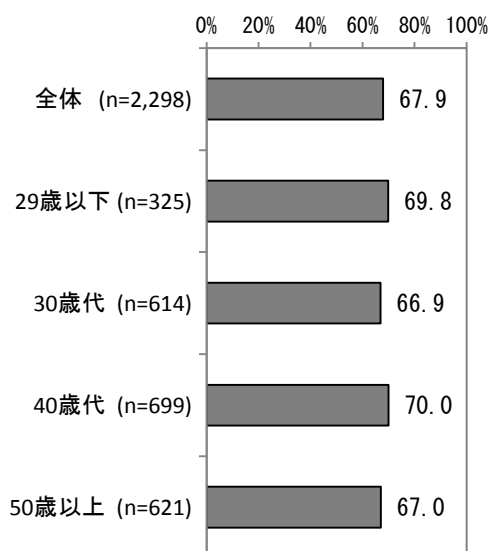
問13 職場の状況 <SA> (n=2, 298)



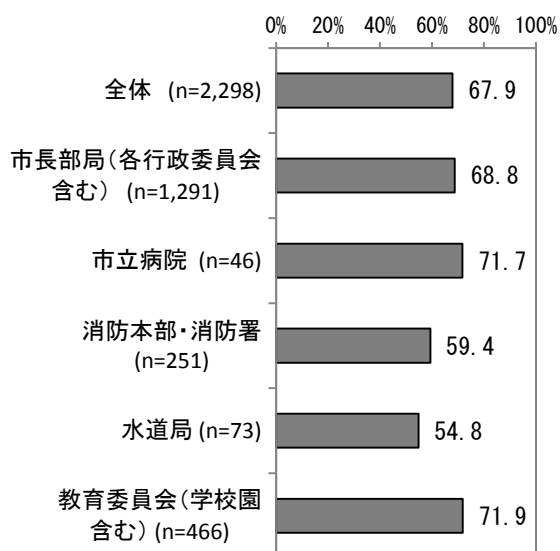
①担当業務の課題・目標の設定のために職場で話し合いができている

“肯定的な割合”は、67.9%となっており、年齢別にみると『40歳代』(70.0%)が、所属別にみると『教育委員会(学校園含む)』(71.9%)が、職種別にみると『保育士』(83.1%)が、役職別にみると『部長級』(95.1%)が最も多くなっている。

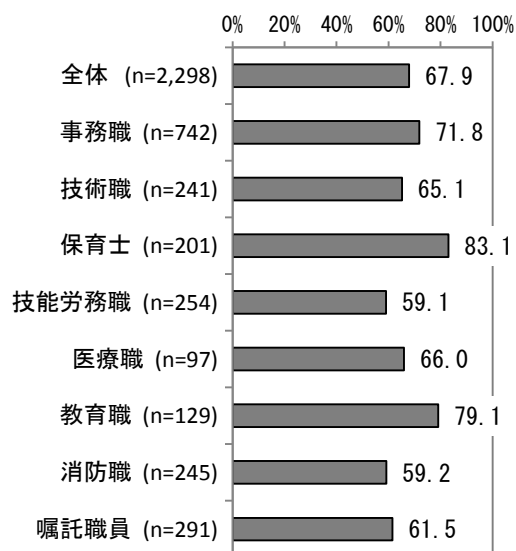
肯定的な回答割合（年齢別）



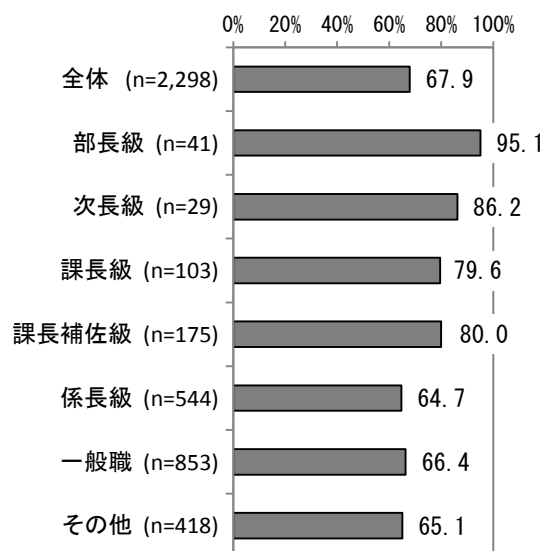
肯定的な回答割合（所属別）



肯定的な回答割合（職種別）



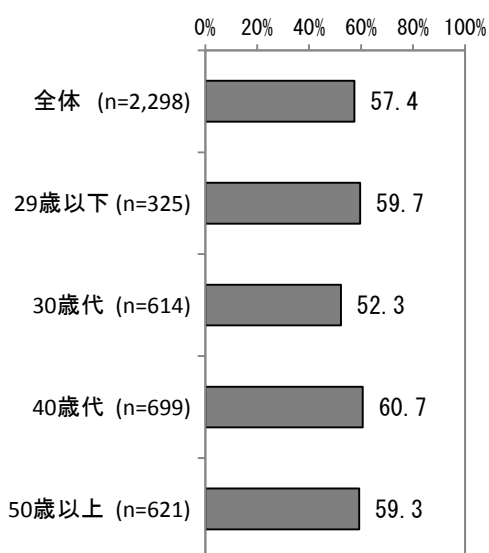
肯定的な回答割合（役職別）



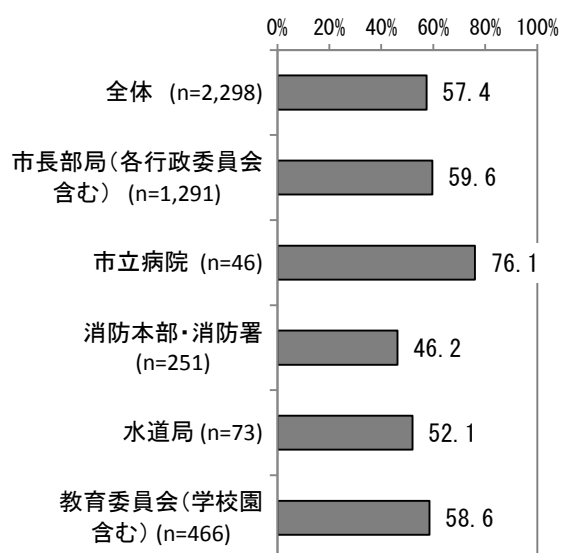
②担当業務が「こうなったら成功」という目標が設定できている

“肯定的な割合”は、57.4%となっており、年齢別にみると『40歳代』(60.7%)が、所属別にみると『市立病院』(76.1%)が、職種別にみると『医療職』(66.0%)が、役職別にみると『部長級』(95.1%)が最も多くなっている。

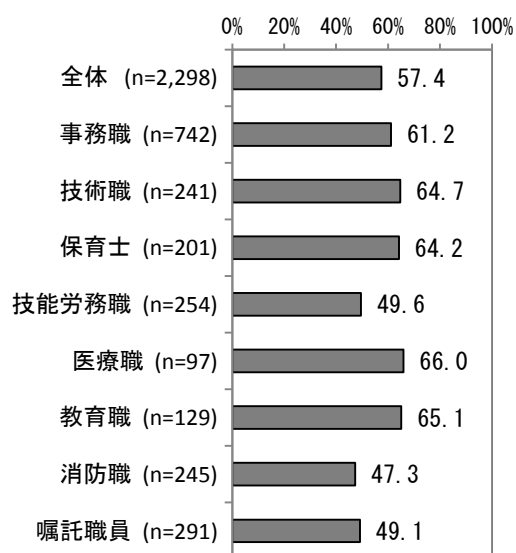
肯定的な回答割合（年齢別）



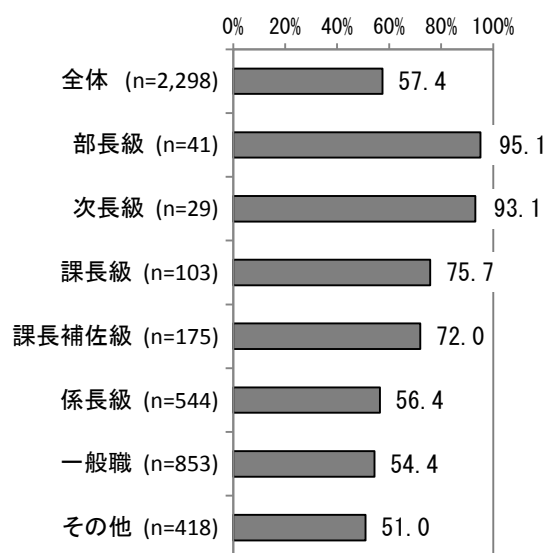
肯定的な回答割合（所属別）



肯定的な回答割合（職種別）



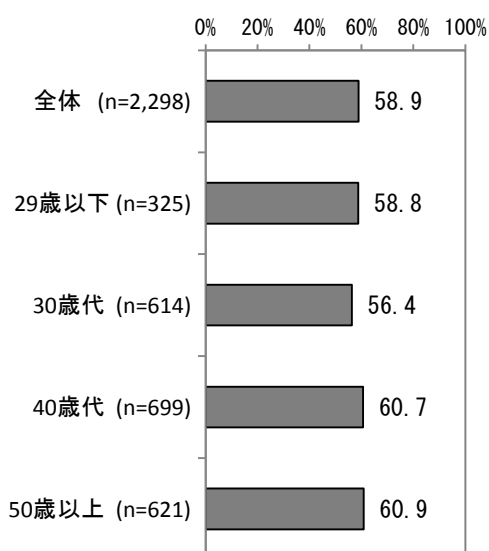
肯定的な回答割合（役職別）



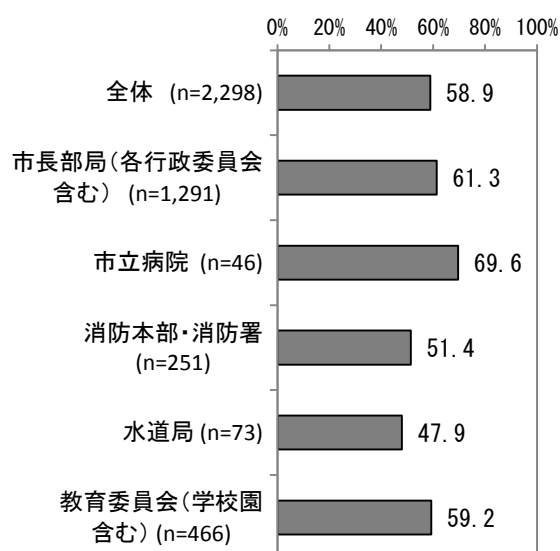
③担当業務の目標を課内で共有できている

“肯定的な割合”は、58.9%となっており、年齢別にみると『50歳以上』(60.9%)が、所属別にみると『市立病院』(69.6%)が、職種別にみると『保育士』(74.6%)が、役職別にみると『部長級』(97.6%)が最も多くなっている。

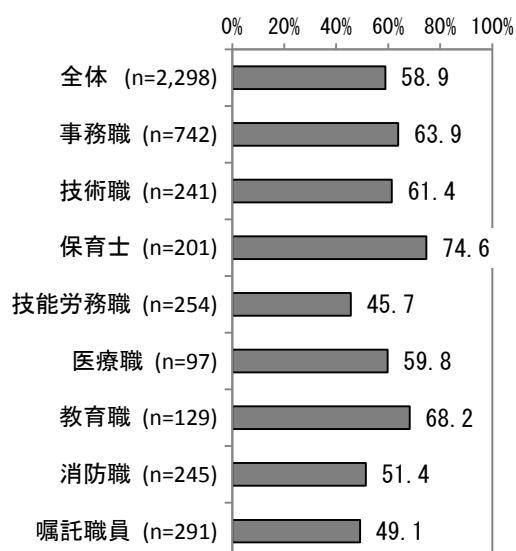
肯定的な回答割合（年齢別）



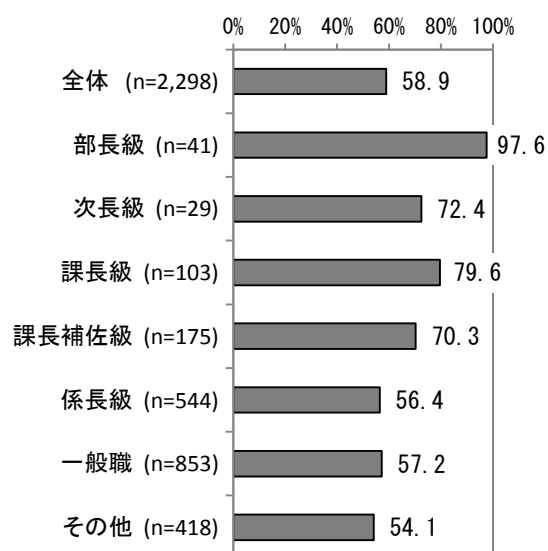
肯定的な回答割合（所属別）



肯定的な回答割合（職種別）



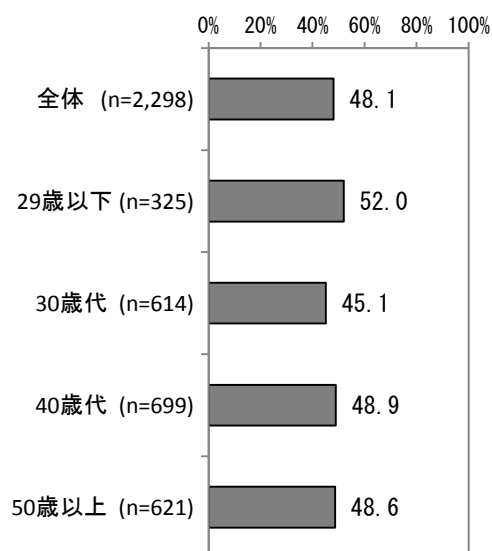
肯定的な回答割合（役職別）



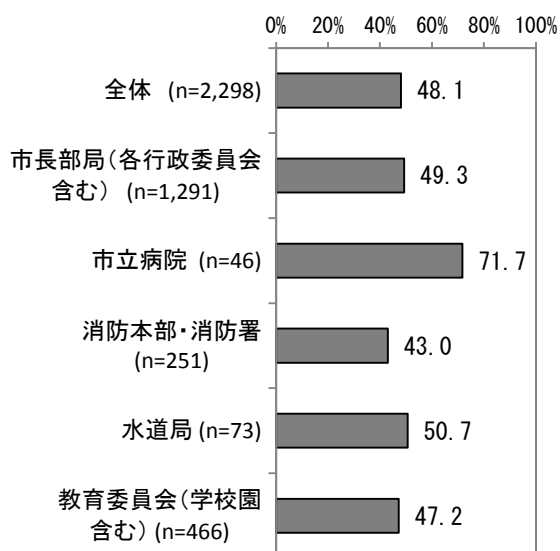
④目標を達成できたかどうかを確認・判断するための情報・データが収集できている

“肯定的な割合”は、48.1%となっており、年齢別にみると『29歳以下』(52.0%)が、所属別にみると『市立病院』(71.7%)が、職種別にみると『事務職』(53.9%)が、役職別にみると『部長級』(78.0%)が最も多くなっている。

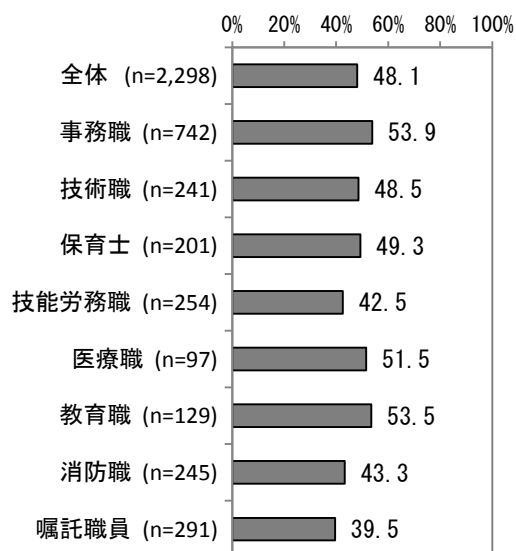
肯定的な回答割合（年齢別）



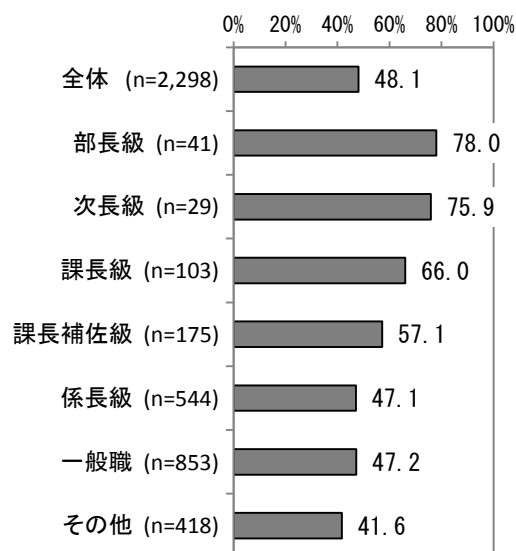
肯定的な回答割合（所属別）



肯定的な回答割合（職種別）



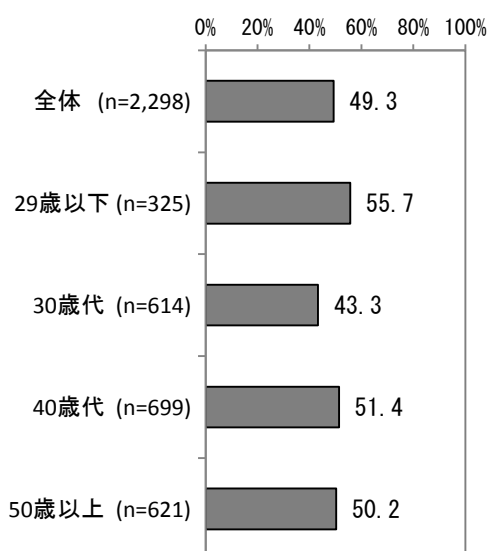
肯定的な回答割合（役職別）



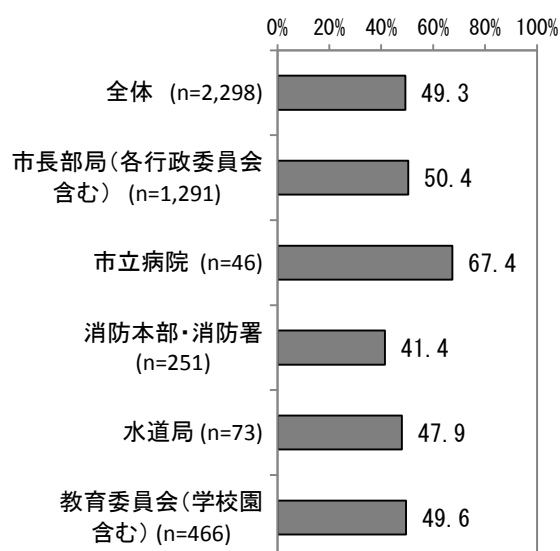
⑤業務の遂行にあたって、十分に効率化を図ることができている

“肯定的な割合”は、49.3%となっており、年齢別にみると『29歳以下』(55.7%)が、所属別にみると『市立病院』(67.4%)が、職種別にみると『技能労務職』(58.7%)が、役職別にみると『部長級』(70.7%)が最も多くなっている。

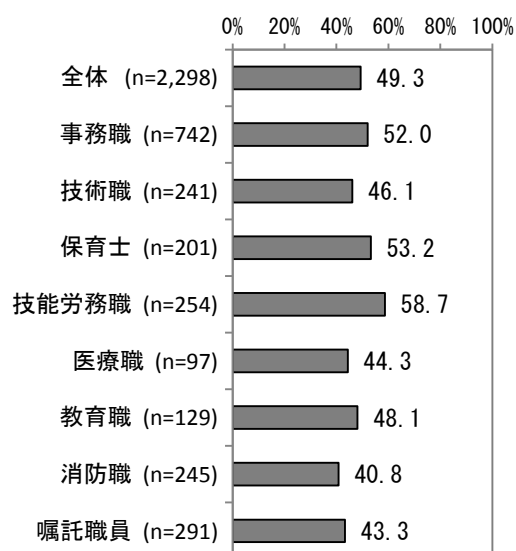
肯定的な回答割合（年齢別）



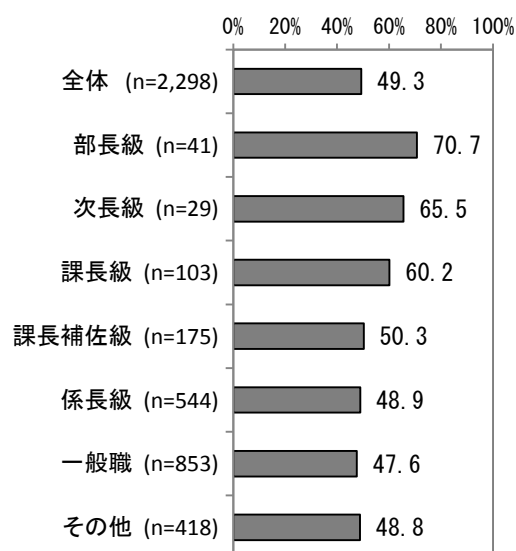
肯定的な回答割合（所属別）



肯定的な回答割合（職種別）



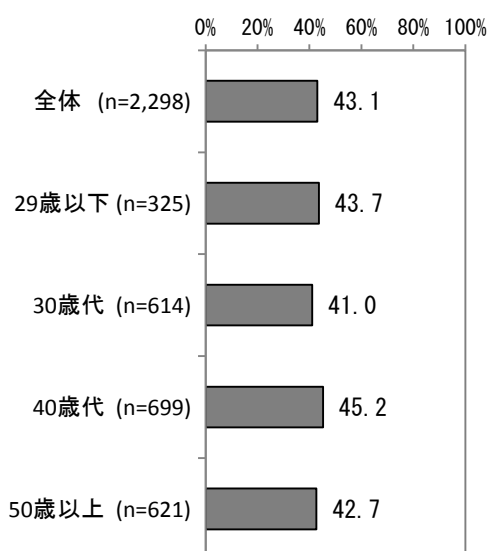
肯定的な回答割合（役職別）



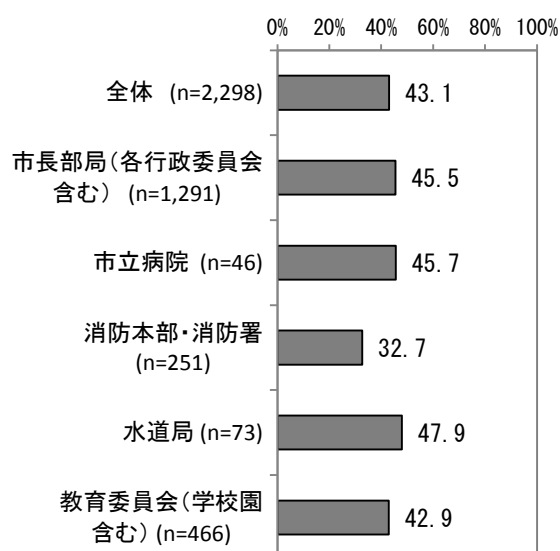
⑥業務の効率化を妨げる要因の分析を行っている

“肯定的な割合”は、43.1%となっており、年齢別にみると『40歳代』(45.2%)が、所属別にみると『水道局』(47.9%)が、職種別にみると『事務職』(48.8%)が、役職別にみると『部長級』(70.7%)が最も多くなっている。

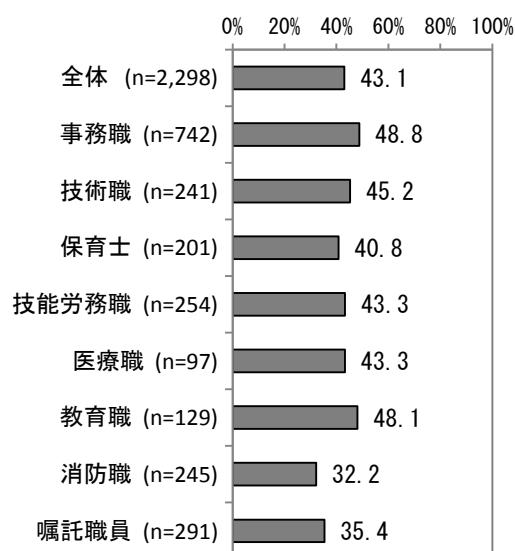
肯定的な回答割合（年齢別）



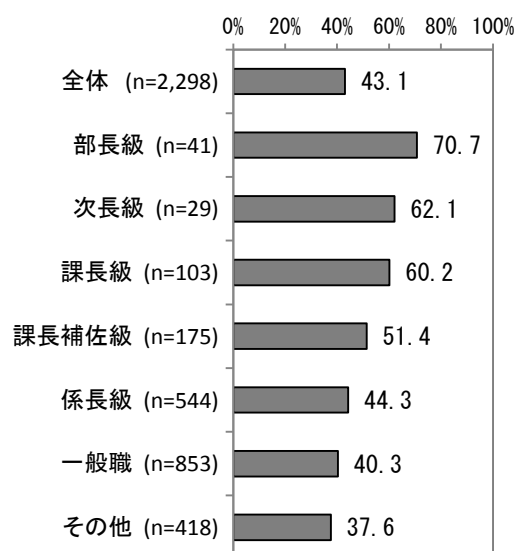
肯定的な回答割合（所属別）



肯定的な回答割合（職種別）



肯定的な回答割合（役職別）



6. 第6次総合計画の策定に向けての意見・提案（問14）

問14 その他、第6次総合計画の策定に向けてご意見・ご提案をお聞かせください。

第6次総合計画の策定に向けて意見・提案を政策毎に分類すると、「安全安心のまちづくり」が20件と最も多く、次いで「信頼される行政経営の推進」(17件)などとなっている。

またその他では、「総合計画全体(内容・方向性)について」が54件と最も多く、次いで「総合計画の策定手法について」(21件)などとなっている。

問14 第6次総合計画の策定に向けての意見・提案（自由記述）

意見・提案	件数
安全安心のまちづくり	20
医療・保健の体制の整備	3
地域福祉の推進と福祉サービスの提供	8
子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	12
生きる力を育む学校教育	3
「まちの魅力」発見・発信・創出	11
豊かな心を育む文化・学習・交流	2
産業振興とまちのにぎわい創出	2
まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	5
環境にやさしいまちづくり	2
安全で快適な水環境の整備	0
安全安心な上水道の供給体制づくり	0
公共下水道の整備	0
人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	0
市民協働と地域自治の推進	8
信頼される行政経営の推進	17
その他	202
アンケートについて	16
総合計画の策定手法について	21
総合計画全体(内容・方向性)について	54
総合計画の市民への周知	8
市民意見・ニーズの聴取	7
情報技術(ICT、IoT、AI)の活用	8
キャッチフレーズについて	2
事業の整理、縮小	18
職員の待遇改善、労働環境改善	8
地域別計画について	3
単身世帯への支援	3
ボランティアの有償化	2
その他	52

第 6 次総合計画策定に向けての職員意識調査について（お願い）

本市では、平成 23 年 2 月に、第 5 次総合計画「やお総合計画 2020」を定め、将来都市像「元気をつなぐまち、新しい河内の八尾」の実現をめざして、さまざまな施策を進めてまいりました。この計画の期間が、平成 32 年度（2020 年度）までとなりますので、現在、第 6 次総合計画の策定を進めているところです。

これからの八尾市のまちづくりをより良いものとするよう、当プロジェクトチームでは、みなさまが日々の業務を通じて感じておられる課題やアイデア、また日々の業務の進め方をお聞かせいただき、第 6 次総合計画の策定や策定後の運用管理に活用するため、職員意識調査を実施いたします（対象者は約 2,500 名）。

なお、この調査は無記名で、調査結果は全て統計的に処理いたしますので、回答者が特定されることは一切ありません。ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

業務ご多忙とは存じますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【記入方法など】

記入方法	この用紙に直接書いてください
提出方法	職場でとりまとめ、総合計画策定プロジェクトチームまで提出してください
締め切り	平成 3 1 年 2 月 2 2 日（金曜日）
問い合わせ先	総合計画策定プロジェクトチーム（内線 3 1 6 1）

<第6次総合計画策定に向けての職員意識調査>

1. あなたご自身のことについてお伺いします。(○印は1つ)

①年齢	1. 29歳以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳以上
②所属	1. 市長部局（各行政委員会含む） 2. 市立病院 3. 消防本部・消防署 4. 水道局 5. 教育委員会（学校園含む）
③職種	1. 事務職 2. 技術職 3. 保育士 4. 技能労務職 5. 医療職 6. 教育職 7. 消防職 8. 嘱託職員
④役職	1. 部長級 2. 次長級 3. 課長級 4. 課長補佐級 5. 係長級 6. 一般職 7. その他

2. 第5次総合計画の活用状況等についてお伺いします。

問1 あなたは、総合計画（基本構想、基本計画、実施計画）をどの程度見ますか。(○印は**1つ**)

1. 月に数回以上	4. 総合計画を知っているが見ることはない	} 問2へ
2. 月1回程度	5. 総合計画があることを知らない	
3. 1年間で数回程度		

↓ 問1-1へ

問1-1 あなたは、総合計画をどのような時に見ますか。(○印は**いくつでも**)

1. 予算要求に向けて事業計画を立案したり、実施計画を検討するとき
2. 市民に市の取り組みや行政運営の考え方を説明する必要性が生じたとき
3. 行政評価（施策評価、事務事業評価）を行うとき
4. 分野別計画の策定や進行管理を行うとき
5. 市議会での対応が求められたとき
6. 庁内の他部署や他都市から問い合わせがあったとき
7. その他（具体的に

問2 第5次総合計画の将来都市像「元気をつなぐまち、新しい河内の八尾」の実現に向けて取り組んできたことを踏まえて、特に成果があったと思う政策分野、また今後重要だと思われる政策分野をお聞かせください。
(○印はそれぞれ**3つまで**)

八尾市の政策分野	取り組み例	成果あり	今後重要
1. 安全安心のまちづくり	防犯、防災、消防、危機管理（新型インフルエンザ等の緊急事象への対処）、交通安全、適切な自転車利用、消費者保護、良質な住まいづくり、公共施設・設備の機能更新など		
2. 医療・保健の体制の整備	疾病予防と健康づくり、医療サービス、地域医療体制の充実など		
3. 地域福祉の推進と福祉サービスの提供	地域福祉のしくみづくり（地域での担い手づくり、地域福祉活動等）、高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり、介護サービス、障がいのある人の自立支援、生活困窮者への支援など		
4. 子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境づくり	母子保健、地域での子育て支援と児童虐待防止、保育サービス、幼児教育、青少年の健全育成（放課後児童室、こども会等）など		
5. 生きる力を育む学校教育	小中学生の育成（特色ある学校づくり、人権教育等）、教育機会の均等（特別支援教育、在日外国人教育、教育相談、就学援助、教育環境の整備等）など		
6. 「まちの魅力」発見・発信・創出	八尾の魅力発見と発信（八尾ブランドの創出、河内音頭の普及、高安山・玉串川等の自然資源の保全）、歴史資産などの保全と活用（高安古墳群の保存活用、文化財の保存活用、市史編纂等）など		
7. 豊かな心を育む文化・学習・交流	生涯学習、国際交流と国内交流、芸術文化、スポーツ・レクリエーションなど		
8. 産業振興とまちのにぎわい創出	産業政策、産業振興（ものづくり・商業・農業）、就業支援・雇用創出など		
9. まちのにぎわいを生み出す都市基盤づくり	土地利用と都市景観、都市核などの充実、道路の整備・維持、公園・まちの緑化、公共交通網の充実など		
10. 環境にやさしいまちづくり	環境の保全、まちの美化、地球温暖化対策、ごみの減量や資源循環への取り組みなど		
11. 安全で快適な水環境の整備	治水対策（浸水被害などの軽減）、河川・水路などの整備、防災機能の強化、環境整備、用水機能の確保など		
12. 安全安心な上水道の供給体制づくり	上水道の安定供給、水道管などの計画的な更新、災害時における供給体制づくりなど		
13. 公共下水道の整備	下水道事業の推進、生活環境の向上、河川の水質汚濁の防止、豪雨時における雨水の排水、整備区域における下水道接続の促進、良好な河川環境の保持、浸水被害の少ないまちづくりの推進など		
14. 人権の尊重と平和を希求する共生社会の実現	女性・子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題・外国人などさまざまな人権課題を踏まえた、すべての人の人権が大切にされる社会づくり、人権意識の高揚と差別のない社会づくり、多文化共生の推進（外国人市民への支援・交流等）、平和意識の向上など		
15. 市民協働と地域自治の推進	地域のまちづくり・地域活動への支援、市民の社会貢献活動の促進、男女共同参画の推進など		
16. 信頼される行政経営の推進	計画行政の推進（総合計画の推進、行政評価等）、広域行政（大阪府、大阪市、東大阪市、柏原市等との連携）、行財政改革、情報提供と個人情報保護、人材活用と組織活性化、窓口サービス、健全かつ公正な行財政運営など		

問 2 - 1 第 5 次総合計画の将来都市像「元気をつなぐまち、新しい河内の八尾」の実現に向けて、成果があった取り組みの具体的事例があればご記入ください。

第 5 次総合計画の将来都市像	取り組んだことの成果の事例
<u>元気をつなぐまち</u> ・・・ 一人ひとりの市民、団体や企業などあらゆる活動主体や、自然や文化、産業など多彩な地域資源の「元気」を引き出し、新たな視点で「つなぐ」ことにより、「まち」の価値を高めます。	例) ●●と●●が連携して●●ができた。
<u>新しい河内の八尾</u> ・・・ 歴史に根ざした河内の進取の気風を受け継ぎ、八尾の良さを最大限発揮して、「新しい河内の八尾」を力強くつくりあげていきます。	例) ●●という八尾の良さを活かして、●●ができた。

問 3 第 5 次総合計画の計画期間では「地域と向き合う行政」に取り組んできました。平成 23 年度（2011 年度）以降に、あなたが担当した事例で、特に印象に残っている取り組みをご記入ください。

担当した事例	特に印象に残っている取り組み
例) ●●事業	●●を解決するために●●と連携し、●●などの成果が生まれた。

3. より良い市政の実現についてお伺いします。

問 4 より良い市政の実現を目指した次の取り組みの中で、あなたが特に必要だと思うものをお聞かせください。
 （○印は **5 つまで**）

1. 市政に対する市民ニーズの把握の充実 2. 市政についての情報提供・情報公開の充実 3. 窓口・電話での職員の適切な応対（わかりやすい説明、迅速な対応など） 4. 八尾市の特性・課題を踏まえた取り組みの立案・実施 5. インターネット等を活用したサービス（予約・申請、A I による問い合わせ対応）の充実 6. 民間のノウハウ・アイデアを取り入れた行政活動・サービスの充実 7. 国・府・近隣自治体と連携した行政活動・サービスの充実 8. 時代のニーズや将来の見通しなどに応じた、事業の見直し（改変・縮小・廃止） 9. 市政への市民の参画の促進 10. 地域活動に対する支援の充実 11. 健全な財政運営 12. その他（	)
--	---

問 5 今後 75 歳以上人口や一人暮らし世帯が増加すると見込まれています。また、長期的に人口の減少がいつくことが見込まれています。あなたの担当業務ではどのような課題が生じると思われますか。

	あなたの担当業務において生じることが想定される課題
①75 歳以上人口の増加 高齢者のみ世帯の増加	
②一人暮らし世帯の増加	
③人口の減少	

問 6 人口規模を維持していくためには、若い世代の転入促進や転出抑制に取り組む必要があります。あなたの担当業務の中で、取り組むことができると考えられるアイデアをお聞かせください。

	あなたの担当業務において取り組むことができると考えられるアイデア
①若い世代の転入促進に関するアイデア	
②若い世代の転出抑制に関するアイデア	
③その他、人口規模の維持に関するアイデア	

問 7 担当業務に関わらず、八尾市全体で、今後 10 年間で最も重要だと思う課題をお聞かせください。また、そう考える理由と、八尾市として取り組むことができると考えられるアイデアをお聞かせください。

最も重要な課題	最も重要と考える理由、取り組むことができると考えられるアイデア
(記入例) 工場の流出を防ぐ	八尾市の製造業は、市民の雇用や市の税収に貢献しているが、工場が八尾市外へ流出している。流出しない取り組みが必要だ。

4. あなたの担当業務における他主体との連携・協力状況についてお伺いします。

問 8 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、職場内で連携・協力を得ましたか。（○印は **1 つ**）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 連携・協力を得たことで、より良い効果があった | 2. 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった |
| 3. 今後連携・協力を得る予定 | 4. 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない |
| 5. 担当業務では、職場内での連携・協力を必要としない | |

問 9 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、庁内関係課と連携・協力しましたか。（○印は **1 つ**）

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 連携・協力を得たことで、より良い効果があった | 2. 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった |
| 3. 今後連携・協力を得る予定 | 4. 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない |
| 5. 担当業務では、連携・協力すべき庁内関係課はない | |

問 10 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、関係行政機関と連携・協力しましたか。（○印は **1 つ**）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 連携・協力を得たことで、より良い効果があった | 2. 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった |
| 3. 今後連携・協力を得る予定 | 4. 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない |
| 5. 担当業務では、連携・協力すべき関係行政機関はない | |

問 11 あなたは、担当業務の実施にあたって、今年度、多様な主体（地域団体、NPO、企業、大学等）と連携・協力しましたか。（○印は **1 つ**）

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 連携・協力を得たことで、より良い効果があった | 2. 連携・協力を得たが、期待した効果はなかった |
| 3. 今後連携・協力を得る予定 | 4. 連携・協力を得るべきであるが、協力を求められていない |
| 5. 担当業務では、連携・協力すべき多様な主体はない | |

問 12 今後、八尾市として、地域活動や市民活動と連携・協働していくべきと考えられる事柄をお聞かせください。

連携・協働のテーマ	取り組みの概要・アイデア
（記入例）高齢者の活躍の場づくり	元気な高齢者の方が多いので、担い手として地域活動に参加してもらえるようなきっかけづくりが必要だと思う。

5. あなたの職場での仕事の進め方について伺います。

問 13 下記の事柄につき、あなたの職場の状況に当てはまるものをお聞かせください。（○印は **1つ**）

質問	あなたの評価は？（○は1つ）				
	そう 大変 思う	そう やや 思う	そう あまり 思わない	思 わ な い	わ か ら な い
①担当業務の課題・目標の設定のために職場で話し合いができています	5	4	3	2	1
②担当業務が「こうなったら成功」という目標が設定できています	5	4	3	2	1
③担当業務の目標を課内で共有できています	5	4	3	2	1
④目標を達成できたかどうかを確認・判断するための情報・データが収集できています	5	4	3	2	1
⑤業務の遂行にあたって、十分に効率化を図ることができています	5	4	3	2	1
⑥業務の効率化を妨げる要因の分析を行っている	5	4	3	2	1

6. 最後に

問 14 その他、第 6 次総合計画の策定に向けてご意見・ご提案をお聞かせください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました

■八尾市職員意識調査報告書

平成31年（2019年）3月発行

発行者 八尾市 政策企画部 総合計画策定プロジェクトチーム

〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号

TEL 072-924-9310 Fax 072-924-3570

電子メール soukei@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 H30-225

